



HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書・据付説明書別添付

日立全自動電気洗濯機
型式

エヌダブルユー ビー
NW-50B



このたびは日立全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書・据付説明書・洗濯機設置時のチェックシート(据付確認書)とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→(P.8~11)をお読みいただき、正しくお使いください。



もくじ

ご使用の前に

各部のなまえ・付属品	4
操作パネルのはたらき	6
安全上のご注意	8
使用上のご注意	12
据え付け状態の確認	12
ふたの開閉をする	13
ふたを開ける	13
フタロック(チャイルドロック)の設定・解除	13

お洗濯の前に

洗濯物の確認と準備	14
洗濯も風脱水もできないもの	14
風脱水できないもの	14
洗濯物の準備	15
洗濯物の量と重さの目安	16
洗濯物の片寄りを防ぐ	17
洗剤や柔軟剤の使いかた	18
洗濯物の量の計測と水量表示	18
洗剤・漂白剤・柔軟剤量	18
洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた	20
石けん(天然油脂)の入れかた	22
洗濯のりの使いかた	23
使用できる洗濯のり	23

使いかた

運転コースの選びかた	24
洗濯する／洗濯～風脱水する	25
使いかた	25
毛布コースで洗濯する	26
洗濯物の準備	26
毛布洗いネットの使いかた	26
毛布の入れかた	26
毛布の取り出しかた	26
毛布の干しかた	26
使いかた	27
風脱水する	28
使いかた	28
おしゃれ着コースで洗濯する	29
洗濯物の準備	29
使いかた	29
予約運転をする	30
使いかた	31
お好みの設定で運転する	32
洗い・すすぎ・脱水の設定変更と個別運転	32
運転内容と変更できる内容	34
便利な使いかた	36
お湯を使う(風呂水など)	36
終了音の設定	37
洗濯液を2度使う	37

お手入れ

お手入れをする	38
糸くずフィルター	38
柔軟剤投入口(柔軟剤投入ケース)	39
吸気口	39
給水口	40
排水口・排水トラップ	41
本体	41
洗濯・脱水槽	41
槽洗浄・槽乾燥コースでお手入れをする	42
コースの使い分け	42
槽洗浄コース	42
槽乾燥コース	42
使いかた	43

お困りのとき

お知らせ表示されたとき	44
こんな音がしたとき	45
本体各部	45
① 音・振動	45
② 給水口・給水	45
③ 排水口・排水	46
④ ふた	46
⑤ 洗濯・脱水槽	46
⑥ 本体	46
本体の運転動作	47
⑦ 運転動作	47
⑧ 運転時間	47

操作パネルの表示内容	47
⑨ 水量表示	47
⑩ 運転中表示	48
洗濯物の仕上がりが気になる	48
⑪ 衣類に洗剤残りがあ(白いものが残る)	48
⑫ 糸くずが気になる	48
⑬ 汚れ落ちがわるい	48
⑭ 黒ずみが気になる	48
⑮ 黄ばみが気になる	49
⑯ 色移りや変色が気になる	49
⑰ 洗濯物がゴワゴワする	49
⑱ においがする	49
⑲ 風脱水したのに乾きがわるい	49

アフターサービスなど

もしものとき	50
給水ホースを外し水抜きをするとき (引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき)	50
もしも凍結したとき	51
別売り部品	52
仕様	53
保証とアフターサービス	54
点字シール	56

各部のなまえ・付属品

使用する前に、本体各部のなまえと付属品を確認してください。
主な説明のあるページを→(P.〇〇)カッコで示しています。

洗濯・脱水槽

洗濯・脱水槽を回すと液体の音がしますが、これは脱水時のバランスを取るために、バランスリングの中に入っている液体の音です。洗濯・脱水槽に水が残っている訳ではありません。

バランスリング

柔軟剤投入口
→(P.20、39)

糸くずフィルター
→(P.38)

かくはん翼

アース線→(据付説明書 P.15)

電源コード

電源プラグ

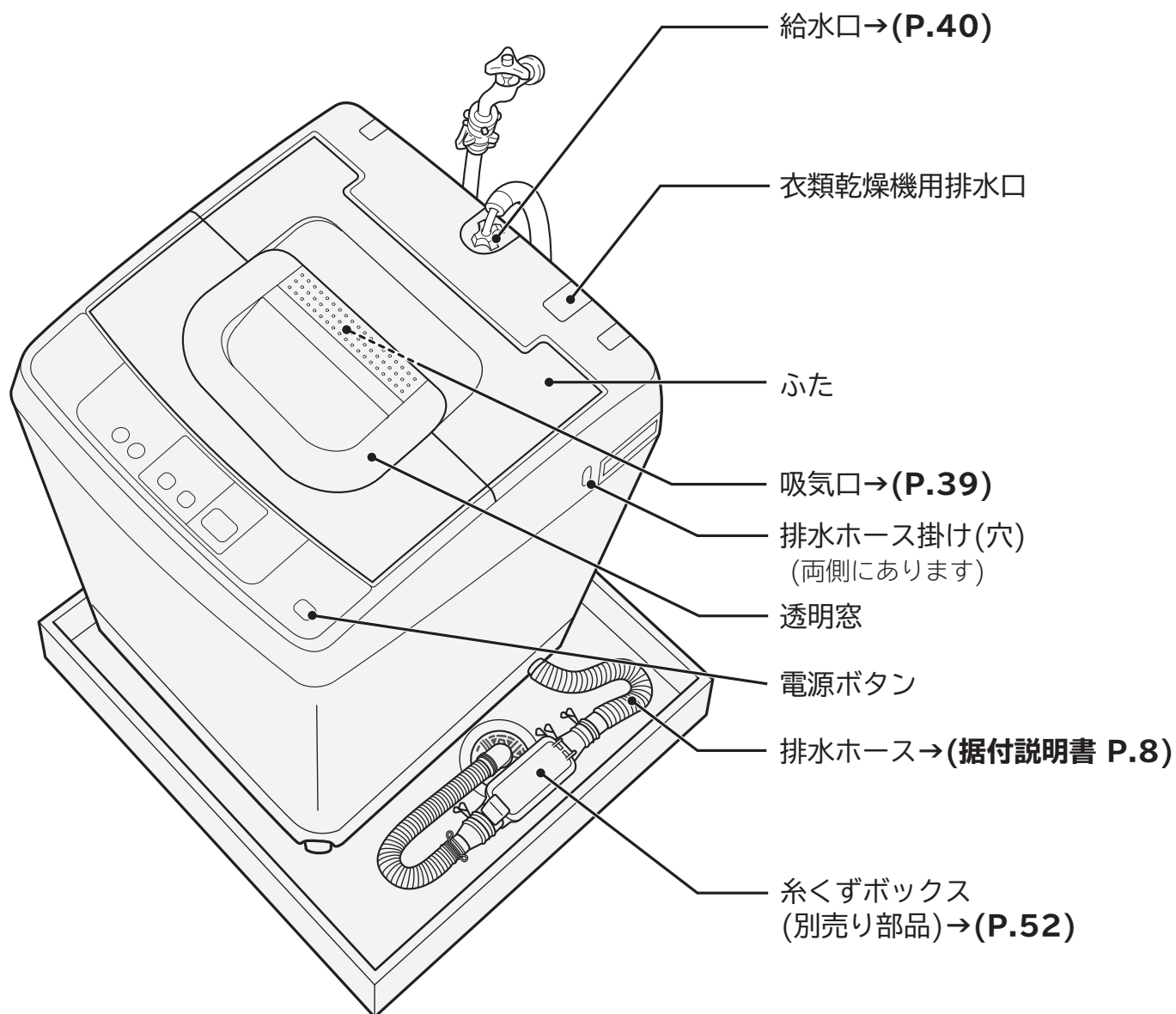
ふた取っ手

液体洗剤・漂白剤
投入口→(P.20)

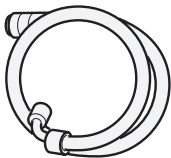
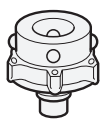
操作パネル→(P.6)

フタロック→(P.13)

調節脚→(据付説明書 P.11)
(前右側の脚の高さを調節できます)

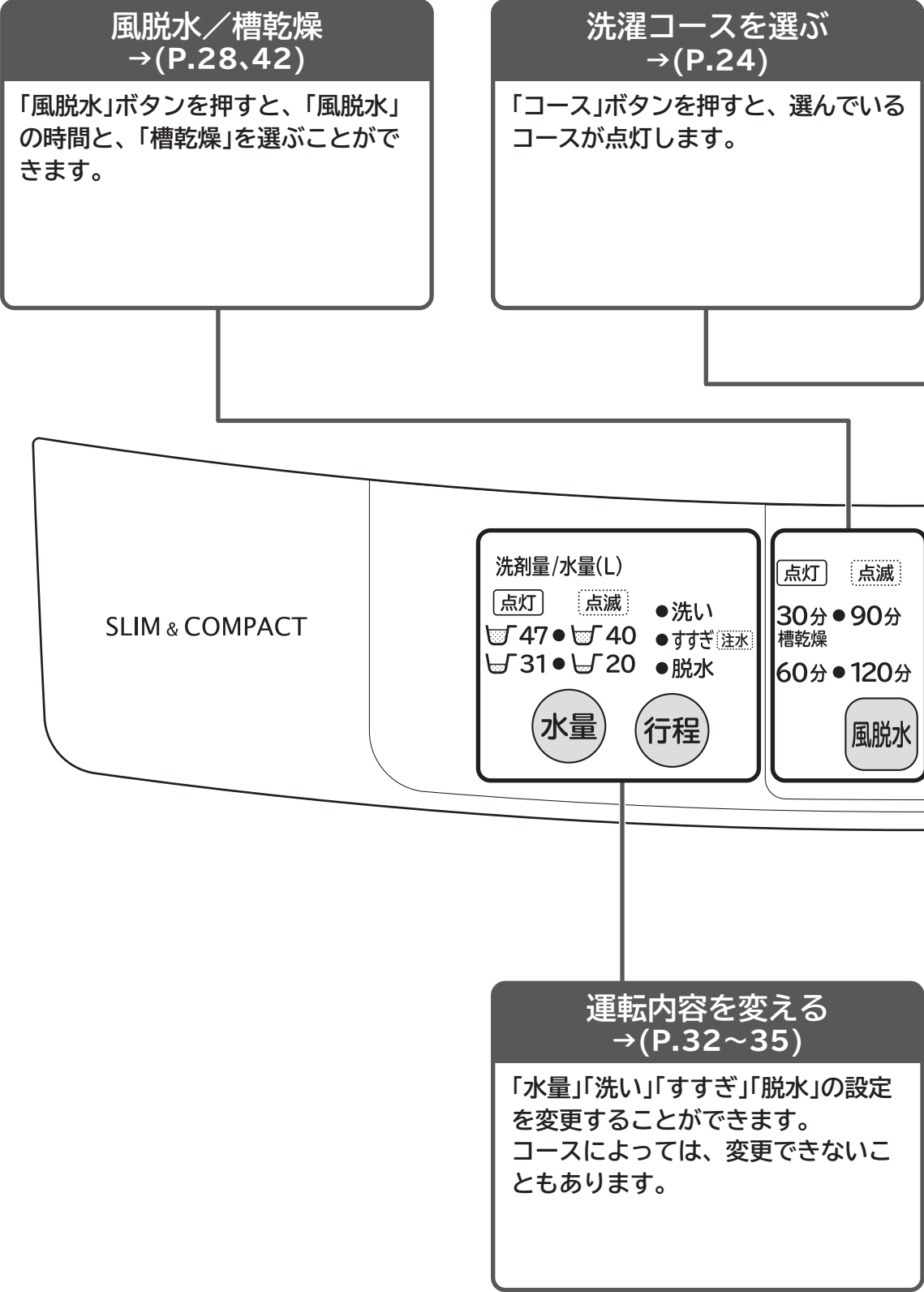


付属品

水栓(蛇口)との接続に 使用します		本体の水平を 確認するときに 使用します
給水ホース (約0.8m) →(据付説明書 P.13)	ワンタッチつぎて →(据付説明書 P.5)	水準器 ※水準器は洗濯機専用 です。 →(据付説明書 P.11)
		
(1本)	(1個)	(1個)

操作パネルのはたらき

説明のため、すべての表示を点灯状態にしています。



■電源を入れたあと、長押し操作で設定が変わるボタン

行程	フタロック(チャイルドロック)の設定・解除ができます。	→(P.13)	スタート一時停止	終了音を設定・解除することができます。	→(P.37)
----	-----------------------------	---------	----------	---------------------	---------

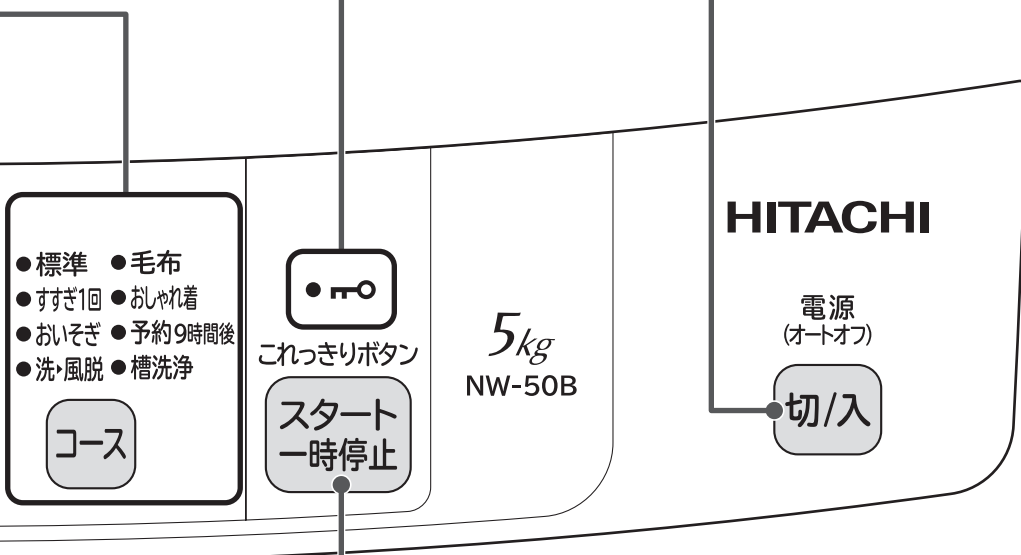
ふたのロック表示 →(P.13)



(点滅)
ふたがロックされているときや、
フタロック(チャイルドロック)が設定
されているときにランプが点滅します。

電源

電源の入・切を行います。
電源を入れたあと、20分以内に
スタートしないと、自動で電源が
切れます。



スタート／一時停止

スタートや一時停止を行います。

表示について

設定や行程などをランプの点灯
と点滅でお知らせします。

消灯表示 …… ○

点灯表示 …… ●

点滅表示 ……

操作パネルの 点字表記について

目の不自由なかたでも操作部の位置がわかる「点字シール」(操作部にはり付けます)を
ご用意しています。ご希望の方は、「商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口」へ
お問い合わせください。→(P.56)

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■表示内容を見逃して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	絵表示の例
 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。
		 してはいけない「禁止」内容のものです。
		 実行していただく「指示」内容のものです。

警告

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために (感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ)



禁止

- 電源コードを傷つけない
 - ・傷つけない、加工しない ・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
 - ・加重をかけない、挟み込まない
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
- タコ足配線をしない、延長コードを使用しない



指示

- 定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで差し込む
- 電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る



プラグを抜く

- 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
- お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く



アース線接続

- アース線を取り付ける
アース線の取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。→(据付説明書P.15)
(工事費は、本体価格に含まれていません)

本体の故障や事故を防ぐために (感電・けが・電気部品の損傷・本体の転倒のおそれ)



水場禁止

- 浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない
感電または電気部品を傷めるおそれがあります。



禁止

- キャスターの付いている台など、不安定な場所に据え付けない
転倒してけがをするおそれがあります。

警告

運転時の爆発や火災を防ぐために（油などの酸化熱による自然発火や引火のおそれ）



禁止

- 引火物や火気を洗濯・脱水槽に入れない、近づけない
 - ・灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどおよびそれらの付着した洗濯物
 - ・ローソク、蚊取り線香、たばこなど
- 揮発性溶剤(灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど)やカセイソーダを使って洗濯しない
それらの付着したものを洗濯しない

感電、漏電、ショートによる火災を防ぐために（感電・発火・火災のおそれ）



プラグを抜く

- 本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
修理は販売店などにご相談ください。



水ぬれ禁止

- 本体各部や電源プラグに水や洗剤などをかけない

子どもの事故を防ぐために（洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをするおそれ、窒息のおそれ）



禁止

- 子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない、本体の近くに台を置かない
- 操作に不慣れな方だけでは使わせない
洗濯・脱水槽内に閉じ込められて、窒息、感電、けが、おぼれるおそれがあります。
- フタロック(チャイルドロック)を設定する →(P.13)



指示

- 付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置く
ポリ袋を頭にかぶると、窒息するおそれがあります。

洗濯・脱水槽への巻き込まれを防ぐために（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがのおそれ）



接触禁止

- 洗濯・脱水槽が完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない
洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。
特に子どもには注意してください。

洗濯運転時の発泡を防ぐために（泡が多量に発生し、本体の故障・水漏れ・感電のおそれ）



指示

- 洗剤は表示に従って適量を入れる →(P.18)

安全上のご注意（必ずお守りください） つづき

⚠ 注意

洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷を防ぐために

（洗濯・脱水槽のバランスがくずれて異常振動が発生し、洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷、洗濯物の飛び出し、本体の転倒のおそれ）

異常振動が発生したときは安全装置が作動しますが、洗濯・脱水槽が高速で回転しているため、すぐに回転は止まりません。



禁止

●防水性の衣類・繊維製品は、洗濯・脱水槽には絶対に入れない

防水性の衣類は水を通さないため、洗濯・脱水をしても衣類の中に水がたまっています。そのまま脱水をすると、たまった水が急激に移動し、回転バランスがくずれて異常振動が発生することがあります。

脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。

また、本体が転倒することもあります。

— 防水性・繊維製品の例 —

釣りウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど
(洗濯物に洗える表示があっても洗わないでください)

●毛布などの大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯・脱水槽には絶対に入れない
折りたたんだ衣類の固まりが、脱水中に突然バランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。

また、本体が転倒することもあります。



毛布などの大物
敷きマット
防水性マットや
そのほかの衣類

●一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しない

異常振動や洗濯物の片寄りの原因になります。

けがを防ぐために



禁止

●ロックされた状態のふたを無理に開けない



接触禁止

●運転中は本体の下に手足などを入れない

●ふたは取っ手を持って開閉する、無理に開閉をしない、本体に手を置いてふたの開閉をしない
無理な力で開閉すると、ふたや部品の破損につながる可能性があります。

本体に手を置いてふたの開閉をすると、ふたと本体の間に指や手を挟むおそれがあります。

水漏れを防ぐために



指示

●洗濯前は水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないか確認する

水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎでの緩みやさびの発生により水漏れに至るおそれがあります。

●使用しないときは、水栓(蛇口)を閉じておく

●据え付け直後や移設直後など、水栓(蛇口)接続を変えたあとには、まず水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないか確認する

⚠ 注意

洗濯物の損傷を防ぐために



禁止

- ふたを閉めるときに洗濯物を挟まない



指示

- 洗濯物のひもなどは結び、ファスナーやボタンを閉めてから洗濯・脱水槽に入れる

本体の損傷や故障、水漏れを防ぐために



禁止

- 50℃以上のお湯を使用しない
- 給湯器とつながない
瞬間的に50℃以上の温水が給水され、部品の故障や水漏れにより思わぬ被害を招くことがあります。
- 本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない
- 運転途中で洗濯物を追加する場合は、入れ過ぎない
洗濯物の量が自動計測されたあとに衣類を追加すると、適切な水量とならないため、水漏れや本体の故障のおそれがあります。
- 直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けない
本体内部の温度が異常に高くなり、外観が変形・変色したり、本体が故障するおそれがあります。



指示

- 別売り部品の洗濯機用防水パン・洗濯機用トレイ→(P.52)を設置する
水漏れや結露により、床面がぬれたり汚れたりするおそれがあるため、別売り部品の洗濯機用防水パン・洗濯機用トレイをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。
- 断水後や、一度給水ホースを外して再度取り付けた場合、長期間使用しなかった場合は、水栓(蛇口)を閉めて「槽洗浄」コースを選び、「スタート」ボタンを押してからゆっくり水栓(蛇口)を開く
給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧によって本体が破損し、水漏れやけがのおそれがあります。

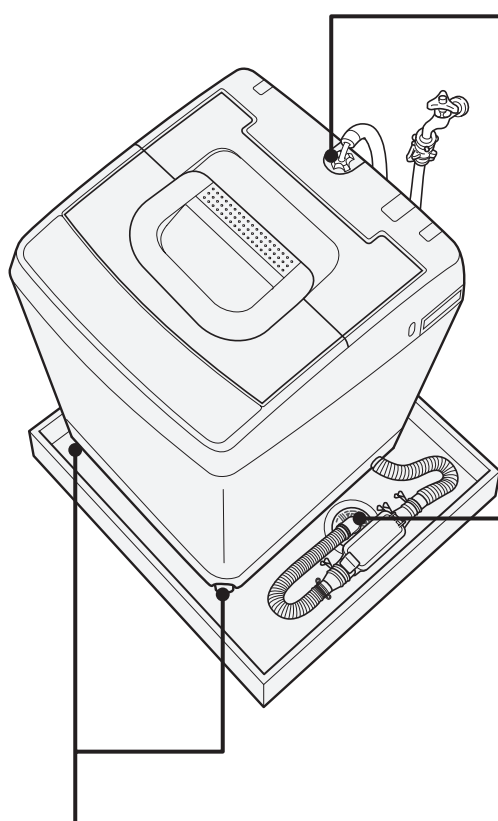
使用上のご注意

よくお読みのうえ、正しくお使いください

- 運転中は電源プラグを抜かない（本体の故障のおそれ）
「一時停止」ボタンを押し、電源を切り電源プラグを抜いてください。
- 本体にテレビやラジオを近づけない（画面が乱れたり、雑音が入ったりするおそれ）
運転中の本体の近くでは、ノイズが入り放送が正常に受信できないことがあります。
ラジオやテレビは、運転中の本体から離れたコンセントに差し込み、2m以上離してください。
- 洗濯物を入れ過ぎない
（洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損のおそれ）
（洗濯時間が長くなったり、洗いムラが発生したりするおそれ）
- 風脱水運転中は十分に換気をする

据え付け状態の確認

次のような問題を防ぐため、確認をしてください。
解決しないときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



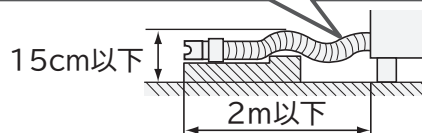
水漏れを防ぐ

- 水栓(蛇口)の接続は、付属品のワンタッチつぎて →(P.5)を使用していますか？
- 接続部分に緩みやぐらつきはありませんか？
- 給水ホースが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを回す。さらに、ユニオンナットを約90°回し、しっかり締め付ける →(据付説明書 P.13)
- 水栓(蛇口)にさびの発生はありませんか？

排水異常を防ぐ

- 排水ホースの高さは、15cm以下になっていますか？
- 排水ホースが、排水口に取り付けられていますか？ →(据付説明書 P.9)

敷居を越えるときは、高さ15cm以下、排水ホースの全長を2m以下に



脱水時の停止・異常音・振動を防ぐ

- 本体が水平に設置されていますか？
水準器の気泡が円の中に入るように、調整脚や脚キャップで高さを調節してください。
→(据付説明書 P.11)

排水時の停止を防ぐ

(お知らせ表示^①の「すすぎ」と^②の全点滅)

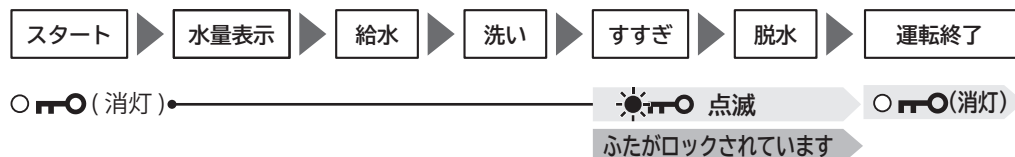
- 排水口が掃除できるように設置されていますか？
排水口・排水トラップは月1回を目安にお手入れをしてください。→(P.41)
- 排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、掃除しにくい場合は、別売り部品の糸くずボックス →(P.52)をお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

ふたの開閉をする

ふたを開ける

安全のため、運転中はふたが自動でロックされています。

運転の流れと
ふたのロック
表示



運転中にふたを開ける手順

1



を押し、運転を一時停止する

洗濯・脱水槽の回転が止まると、○ (消灯) が消灯してロックが解除され、ふたを開けることができます。

2

ふたを閉め、 を押し、運転を再開する



が点滅してふたがロックされ、運転が始まります。

しっかり閉めない、ふたがロックされず、危険防止のため運転が始まりません。

- ・無理にふたを開けると、ふたが壊れるおそれがあります。
- ・すすぎの途中に一時停止をした場合、運転再開後、次の脱水運転が始まる前にふたがロックされます。

ふたが開かないとき→(P.46)

フタロック(チャイルドロック)の設定・解除

子どもが勝手にふたを開けたり、誤って洗濯・脱水槽の中に落ちないようにするため、給水から強制的にふたをロックして、開けられないようにすることができます。

運転の流れと
ふたのロック
表示



設定／解除のしかた(工場出荷時は設定されていません)

1



を押し、電源を入れる

2

設定するとき

ふたを閉め、



を「ピッピッピッピー」と音が鳴るまで
3秒以上押す

が点滅し、フタロックが設定されます。

解除するとき



を「ピッピッピッピッ」と音が鳴るまで
3秒以上押す

が消灯し、フタロックが解除されます。

3



を押し、電源を切る

設定内容は記憶されません。

洗濯物の確認と準備

洗濯物に付いている取扱絵表示や注意表示を確認してください。

洗濯も風脱水もできないもの

洗濯絵表示や種類によっては、下記の衣類・製品でも洗濯運転や風脱水運転ができません。
洗濯物の縮み、形くずれ、変色、損傷、風合い劣化などのおそれがあります。

- 洗濯絵表示  や  の表示があるもの
- 取扱絵表示や素材表示が付いていないもの
- 皮革・毛皮・羽製品、それらの装飾品付き製品
- 和服、和装小物製品
- ネクタイ、スーツ、コート
- レーヨン、キュプラ、それらの混紡品
- シルク製品
- ベルベットなどのパイル地製品
- コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工の製品
- 毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー
- 強撚糸(強くよじった糸)を使用したウールやちりめんなどの製品

洗濯物が片寄りやすく、異常振動による本体の故障、けが、洗濯物の破れなどのおそれがあります。

- 防水性製品 →(P.10)
洗濯物に洗える表示があっても、洗わないでください。
- 玄関マット、ラグマット、敷物
 - ・裏面にゴムが付いているもの
 - ・厚手のもの
 - ・毛足の長いもの
- カーペット
- 座布団や枕、クッションなど
- 洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)
- ペットの毛が多量に付着したもの

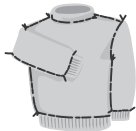
風脱水できないもの

洗濯絵表示や種類によっては、下記の衣類・製品の風脱水運転ができません。
洗濯物の縮み、しわつき、変色、損傷、風合い劣化などのおそれがあります。

- ゴムやウレタンなどを使用した製品
 - ウレタン(スポンジ類)の入ったぬいぐるみなど
 - 布団類などわたを使用した製品
 - ウールなどの獣毛およびその混紡製品
 - タイツ
 - レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品
 - 濃い色のプリントもの
 - 次のような取扱絵表示が付いているもの
 -  ドライクリーニングができる
 - 
 -  つり干しがよい
- 弱くしぼる、ねじりまたはしぼり禁止の表示のあるもの

洗濯物の準備

上手に洗濯をするために、洗濯前に確認し、洗濯物の準備をしてください。

ポケットの中のものを取り出す 	硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどを取り除いてください。 洗濯物のポケットの中なども確認してください。 洗濯物の傷みや本体の故障の原因になります。
衣類のひもなどは結んで、ファスナーやボタンは閉める 	衣類のひもなどは結び、ファスナーやボタンは閉めてください。 洗濯物の絡みや傷み、本体の故障の原因になります。
しみは早めに落とす (えり、そで口などの脂汚れ) 	しみやひどい汚れは早めに処理してください。 時間がたつと落ちにくくなり、黄ばみの原因になります。 洗濯前に部分洗いなどで処理しておく、より効果的です。 えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液を付けて、ブラシで一定方向にこすってください。
大きなゴミなどを取り除く 	大きなゴミ、泥や砂、髪の毛、ペットの毛は取り除いてください。 本体内部にゴミや異物が詰まり、本体の故障の原因になります。
毛玉がつきやすい衣類は裏返する 	毛玉ができやすいセーターなどは裏返してください。 洗濯物どうしの摩擦や、かくはん翼でのこすりは、洗濯物の傷みの原因になります。

洗濯物を仕分ける

色落ちなどの防止をするために、分けて洗濯してください。

色落ちしやすい洗濯物	● 白いタオルなどに洗剤液を含ませ、洗濯物の目立たない部分に強く押し当てて、洗濯物からタオルに色移りしないか確認してください。 色移りがあった場合は、洗濯しないでください。 ● 著しく色落ちする洗濯物は分けて、同類の洗濯物を2～3枚まとめて洗ってください。 ● 色落ちしやすい洗濯物(スカーフ、外国製の衣類など)は、注意してください。
糸くずが気になる洗濯物	● タオル・バスタオルは分けて洗ってください。 ● コーデュロイ(起毛素材)や濃い色の洗濯物などは、糸くず防止用洗濯ネットに入れて洗ってください。
デリケートな洗濯物 ・小物類	● レースの付いた洗濯物、ブラウス、ストッキング、タイツなどは、洗濯ネットに入れて洗ってください。 ● ワイヤー入りブラジャーは、ブラジャー専用ネットに入れて洗ってください。

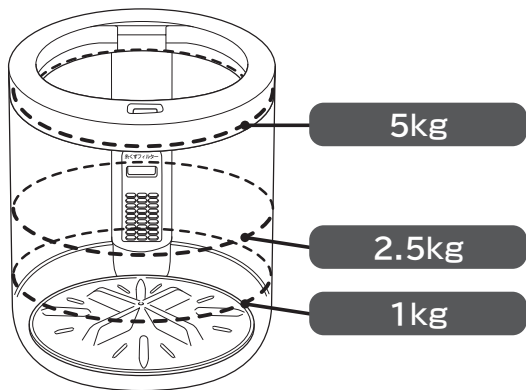
洗濯物の確認と準備 つづき

洗濯物の量と重さの目安

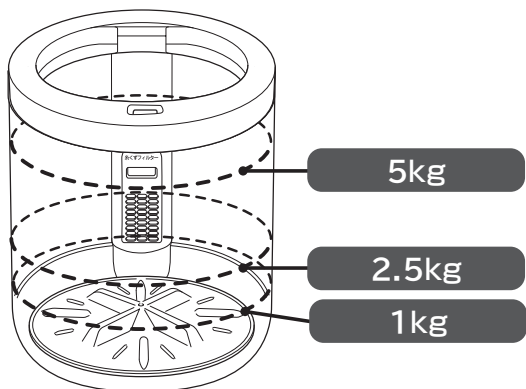
運転コースによって、洗濯できる量と重さが異なります。→(P.24)
量と重さの目安に従って、洗濯物を洗濯・脱水槽に入れてください。

洗濯時の乾いた洗濯物の量と重さの目安

目安は乾いた状態の洗濯物を押さえこむ前の状態です。



脱水後のぬれた洗濯物の量と重さの目安



衣類別の重さの目安

洗濯物の重さを確認するための目安です。
洗濯物の素材や大きさにより、実際の重さは異なります。

	肌着類	シャツ・ズボン類	タオル・寝具類
50g	 ブリーフ 靴下		
100g	 肌着		 タオル
200g		 ワイシャツ	
300g			 バスタオル
400g	 パンツ	 スカート	 パジャマ上下
500g		 シーツ	

洗濯物の重さの目安は、一般社団法人日本電機工業会・自主基準によるものです。

洗濯物の片寄りを防ぐ

脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行います。

(運転時間が長くなります)

自動で修正できない場合は、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。

洗濯物の片寄りを防ぐには、次のようなことに注意してください。

洗濯物を洗濯・脱水槽の中に入れるときは

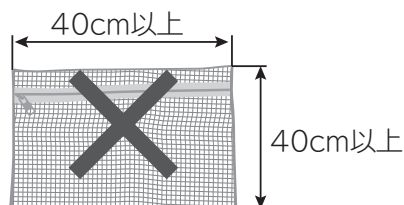
- 重いものが片寄らないように、洗濯物は洗濯・脱水槽の外側に均一に広げて入れてください。



- 洗濯物を詰め込み過ぎないでください。

洗濯ネットを使うときは

- 洗濯ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。片寄りやすくなるだけでなく、汚れ落ちもわるくなります。2～3つの洗濯ネットに分けて入れてください。
- 一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。洗濯物が片寄り、異常振動の原因になります。



※洗濯ネットのファスナーは閉めてください。
閉めないで使用すると洗濯物を傷める場合があります。

大物(シーツ、タオルケット)や厚手の洗濯物(ジーンズ、柔道着、つなぎなど)、洗濯ネットに入れた洗濯物は

- 一つだけでは洗濯しないでください。2、3枚一緒に洗うか、ほかの洗濯物と一緒に洗ってください。



- 先に洗濯・脱水槽に入れてから、ほかの洗濯物を入れてください。

洗剤や柔軟剤の使いかた

洗剤や柔軟剤は、手順に従い、適量を投入口に入れてください。

洗濯物の量の計測と水量表示

洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた水量が表示されます。

洗剤・漂白剤・柔軟剤量

1 洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる

2 電源を入れ、運転するコースを選び、

スタート
一時停止
を押す

かくはん翼が回転し、洗濯物の量が自動計測されます。

あらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「おしゃれ着」コースを設定した場合は、洗濯物の量は自動計測されません。

洗濯物の量に合わせた水量が表示されます。

「毛布」「おしゃれ着」コースは、水量に合わせて表示されます。

洗剤量/水量(L)

点灯 点滅

47 40
31 20

点灯時は47L、
点滅時は40Lが
表示されます

点灯時は31L、
点滅時は20Lが
表示されます

「標準」コース(水量40L)の例

3 右表を参考に洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れ、 ふたを閉める

洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた→(P.20)

ふたが開いていると給水されません。

ふたを閉めると給水が始まります。

【表の見かた】

例えば、水量 30L に対する使用量が
20mL の洗剤をお使いの場合、水量
が 40L と表示されたときは、23mL
を投入口に入れてください。

合成洗剤
液体
20mL
部屋干し
トッ
プ

水量 (自動設定)	洗剤量 (目安)表示
40L	

27mL

洗濯容量 (目安)	水量 (自動設定)	洗剤量 (目安)表示
～5kg	47L	
1.5～2.5kg	40L	
0.5～1.5kg	31L	
～0.5kg	20L	

洗剤および洗濯物の量

- 洗剤を入れ過ぎると泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。
- 香りの強い柔軟剤を使用すると、洗濯終了後に洗濯・脱水槽のにおいが気になる場合があります。
- 表の洗濯物の量は、JIS（日本工業規格）で規定された布地を洗濯した場合のものです。
洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯物の量が変わります。
通常の洗濯では洗濯物の量の目安は7～8割が適当です。

使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤の容器に記載されている使用量を確認し、操作パネルに表示された水量表示に従って、適量を投入口に入れてください。

(2017年9月現在)

合成洗剤							石けん		漂白剤	柔軟剤				
粉末		液体		液体中性	粉末	液体	濃縮			普通				
水量30Lに対する洗剤使用量(容器の記載を確認)														
20g	25g	35g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	40mL	20mL	4mL	7mL	10mL	20mL	
アタック	アタック リセット トップ	アリエール	アタックNeo ナノックス	部屋干し トップ	アタック アリエール	エマール アクリル キッド	そよ風	洗濯用液体複合石けん	ブライドW ワイドハイターEXパワー	ハミングNeo	ふんわりソフラン	香り&デオドラント のソフラン	ハミング レノア プラス	
31g	39g	55g	16mL	31mL	39mL	63mL	56g	63mL	31mL	6mL	11mL	16mL	31mL	
27g	33g	47g	13mL	27mL	33mL	53mL	48g	53mL	27mL	5mL	9mL	13mL	27mL	
21g	26g	36g	10mL	21mL	26mL	41mL	37g	41mL	21mL	4mL	7mL	10mL	21mL	
13g	17g	23g	7mL	13mL	17mL	27mL	24g	27mL	13mL	3mL	5mL	7mL	13mL	

- 洗剤量表示：水30Lに対する表示が20gの粉末合成洗剤の同梱スプーン(すりきり1杯約47g)のものを基準にしています。
- 洗剤を使用する場合は、洗剤の容器に記載されている「使用量の目安」を参考にしてください。
また、洗剤の種類により、スプーンまたはキャップ1杯の洗剤量が異なります。
- 軽い汚れの場合は、上の表の半分程度(5～6割)が適当です。

重曹は使用しないでください。故障の原因になります。

洗剤や柔軟剤の使いかた つづき

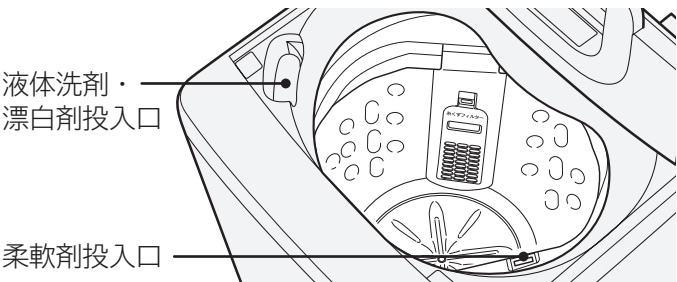
洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた

粉末洗剤は洗濯・脱水槽に入れてください。
液体洗剤・液体漂白剤・柔軟剤は指定の投入口に正しく入れてください。

液体洗剤・漂白剤投入口・柔軟剤投入口

液体洗剤と漂白剤は、同じ投入口です。
柔軟剤は、液体洗剤・漂白剤と投入口が異なりますので注意してください。

- 天然粉末石けん、複合石けんを使う場合は、洗濯・脱水槽に入れてください。
石けん(天然油脂)の入れかた→(P.22)
- 柔軟剤投入口が汚れたときは、水洗いしてください。お手入れのしかた→(P.39)



洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れる手順

1

操作パネルに水量が表示されたあと

＜粉末洗剤＞

洗濯・脱水槽に入れる

洗剤は、洗濯物の外周に均一に回し入れてください。

＜液体洗剤＞

液体洗剤・漂白剤投入口に入れる

本体の故障や水漏れ・洗剤残りの原因になります。次のようなことに注意してください。

- 洗剤は水量表示に従って入れてください。→(P.18)
- タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤を使用する場合は、よく溶かしてから洗濯・脱水槽内に直接入れてください。
- パワージェルボールなどの洗剤は、洗濯・脱水槽に直接入れてください。
- 洗剤を入れ過ぎないでください。
- 柔軟剤投入口に、洗剤を入れないでください。
- 固まっている粉末洗剤は、砕いてから入れてください。
- 粘性の高い液体洗剤は、水で薄めてから投入口に流し込んでください。

2

(必要に応じて)

漂白剤を液体洗剤・漂白剤投入口に入れる

- 使用量および使いかたは、漂白剤の表示に従ってください。
- 漂白剤は、洗濯物に直接かけないでください。変色、布破れの原因になります。
- 塩素系の漂白剤を洗濯・脱水槽に入れたまま、長時間放置しないでください。

漂白剤の種類

酸化型	酸素系 (ワイドハイター、カラーブライトなど)	色・柄物に使えます。 粉末の場合は、毛・絹には使えません。
	塩素系(ハイターなど)	色・柄物に使えません。
還元型 (ハイドロハイター)	水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、ワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。	

使用する前に漂白剤の容器に記載してある注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。

3

(必要に応じて)

柔軟剤投入口に柔軟剤を入れる(最大31mL以下)

- 柔軟剤を入れ過ぎないでください。
流れ出して洗濯物に直接かかり、変色や黒ずみの原因になります。
- 柔軟剤を入れたまま長時間放置しないでください。
固まってしまう場合があります。

黒ずみ・黄ばみの原因

- ・洗剤が少な過ぎたり、入れ過ぎたりすると、汚れ落ちが悪くなり、柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなります。
- ・柔軟剤を入れ過ぎると、洗濯運転を繰り返すごとに柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなります。

黒ずみ・黄ばみを直したいときは、下記をお試しください。

【ご注意】

洗濯物をいためる場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや洗濯物の絵表示などを確認してください。
状態によっては完全に直せない場合があります。

- ・3倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。
- ・白物は塩素系漂白剤または還元系漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。

洗剤や柔軟剤の使いかた つづき

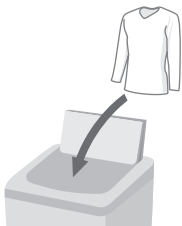
石けん(天然油脂)の入れかた

天然粉末石けんや複合石けんなどの石けん(天然油脂)は、次のいずれかの方法でよく溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。

バケツなどで溶かす

1	バケツなどに、ぬるま湯(約30℃)を約5L用意する
2	ぬるま湯に石けん(天然油脂)を少しずつ入れながら、十分に溶かす 石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かします。 
3	洗濯物を入れ、コースを選ぶ
4	 を押し、運転させる
5	溶かした石けん液を直接、洗濯・脱水槽に入れ、運転を続ける 

洗濯・脱水槽で直接溶かす

1	 を押し、電源を入れ、  を押し、「標準」コースを選ぶ
2	  を押し、水量「31L」、「洗い」のみを設定する
3	 を押し、運転する
4	給水後、かくはんが始まったら、  を押し、一時停止する
5	石けん(天然油脂)を洗濯・脱水槽に入れ、  を押し、運転を再開する
6	運転終了後、洗濯物を入れ、コースを選ぶ 
7	 を押し、運転する 洗いのとき、あらかじめ水が入っているので、水量が多めになります。

次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

●「予約9時間後」コースのとき

洗濯・脱水槽で固まるおそれがあります。

●「毛布」「おしゃれ着」コースのとき

これらのコースでは、つけおき洗いをを行うため、洗剤かすが付着しやすくなり黒ずみや黄ばみの原因になります。

- 使用量が多過ぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けんかすがホースや洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
- 液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まるおそれがあります。
- 石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを十分に行ってください。すすぎが十分でないと黄ばみ・においの原因や変色することがあります。
- 石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1か月に一度を目安に日立純正洗濯槽クリーナーを使い、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.42)
- 石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかす(金属石けん)の発生を抑えることができます。
- 合成洗剤のみの場合は、「洗濯・脱水槽で直接溶かす」に記載の方法で運転しないでください。泡による弊害が起こる場合があります。

洗濯のりの使いかた

脱水運転終了後の洗濯物に、のり付けするときの手順を説明します。

使用できる洗濯のり

使用できる洗濯のりは、化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAc)と表示されているものに限りです。

●上記以外の洗濯のりは、故障の原因になります。使用する前に成分表示を確認してください。

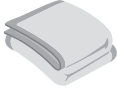
成分表にPVA(ポリビニルアルコール)と記載のある洗濯のりは使用しないでください。

十分なのり付けができなかったり、故障の原因になることがあります。

のり付け運転の手順

のりを溶かす	1	切/入 を押し、電源を入れ、コース を押し、「標準」コースを選ぶ
	2	水量 行程 を押し、水量「31L」、「洗い」のみを設定する→(P.32)
	3	スタート 一時停止 を押し、運転させる
	4	給水後、かくはんが始まったら スタート 一時停止 を押し、一時停止させる
	5	洗濯・脱水槽に直接洗濯のりを入れ、 スタート 一時停止 を押し、運転を再開させる 運転終了後、洗濯のりが溶けたことを確認します。
のり付けをする	6	のり付けしたい洗濯物(1kg以下)を入れる 脱水後のぬれた洗濯物の量と重さの目安→(P.16)
	7	切/入 を押し、電源を入れ、コース を押し、「標準」コースを選ぶ
	8	水量 行程 を押し、「水量」、「洗い」、「脱水」を設定する→(P.32) 水量は洗濯物の量に応じて設定してください
	9	スタート 一時停止 を押し、運転させる
	10	洗濯物を取り出す
洗濯・脱水槽をすすぐ	短い時間ですすぎたいときに	
	11	切/入 を押し、電源を入れ、コース を押し、「標準」コースを選ぶ 洗剤、洗濯物はいれなくてください。
	12	水量 を押し、「47L」を設定する
	13	スタート 一時停止 を押し、運転させる
	念入りにすすぎたいときに	
	11	切/入 を押し、電源を入れ、コース を押し、「槽洗浄」を選ぶ→(P.42) 洗剤、洗濯物はいれなくてください。
	12	スタート 一時停止 を押し、運転させる

運転コースの選びかた

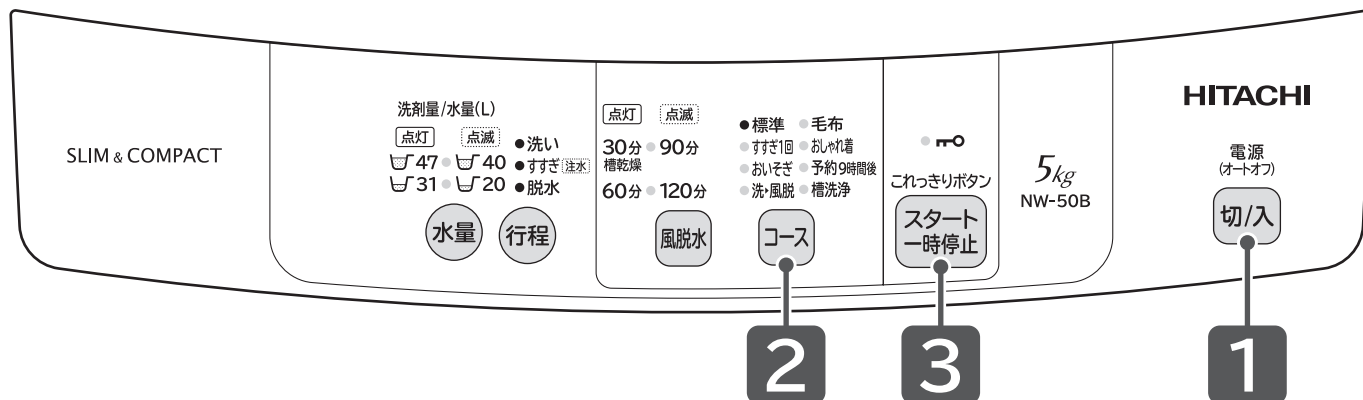
こんなときに (洗濯物の種類)	コース	運転方法(最大洗濯・風脱水容量)			おすすめ洗剤 →(P.19) (風脱水、槽乾燥は除く)
		洗濯	洗▶風脱	風脱水	
普段の洗濯物 ・パジャマ ・肌着など 	標準	5kg	—	—	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
すすぎ1回の専用洗剤 で洗濯したいもの ・ワイシャツ ・パジャマなど 	すすぎ1回	5kg	—	—	すすぎ1回 専用洗剤
軽い汚れを短時間で 洗濯したいとき ・パジャマ ・肌着など 	おいそぎ	2.5kg	—	—	(スピードコース用) 粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
普段の洗濯物を、 洗濯・風脱水したいとき ・普段の洗濯物 	洗▶風脱	—	5kg	—	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
毛布や掛け布団のお洗濯に ・アクリル毛布 ・掛け布団 ・ベッドパッドなど 	毛布 →(P.26)	2.4kg	—	—	液体中性洗剤 または 液体合成洗剤
①②表示のある衣類の お洗濯に ・スカート ・セーターなど 	おしゃれ着 →(P.29)	1kg	—	—	(ドライマーク用) 液体中性洗剤
出かけている間や、 夜間にお洗濯したい ときに 	予約9時間後 →(P.30)	5kg	—	—	粉末合成洗剤
洗濯・脱水槽の汚れや においが気になるときに ・洗濯物はいれないで ください。 	槽洗浄 →(P.42)	11時間	—	—	日立純正洗濯槽 クリーナー または 衣類用塩素系漂白剤
洗濯・脱水槽のカビの 発生を防止したいとき ・洗濯物はいれないで ください。 	槽乾燥 →(P.42)	—	—	30分	—
少量の洗濯物の仕上げや、 熱に弱い素材(化繊)の 洗濯物を風脱水するとき ・ランジェリーなど 	風脱水 →(P.28)	—	—	化繊：1kg	—

※使用できない洗剤もあります。

洗濯する／洗濯～風脱水する

洗濯を行うときの手順です。好みのコースを選ぶことができます。

使いかた



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

コース を押し、コースを選ぶ

押すごとにコースが選べます。

「水量」「すすぎ」を変更する→(P.33、34)

3

スタート一時停止 を押す

洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。→(P.18)

洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合や、「毛布」「おしゃれ着」コースでは自動計測されません。

4

水量表示に従って、

洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)

5

運転終了後、洗濯物を取り出し、

糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

⚠ 注意



禁止

脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.10)

●防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。

●毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。

●一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。

脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

毛布コースで洗濯する

毛布など大物の洗濯物を洗うコースです。

洗うときは、別売り部品の毛布洗いネット(MO-F40)を必ずご使用ください。→(P52)

毛布洗いネットを使用しないで洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損するおそれがあります。

その場合は、保証の対象外になります。

(洗濯物の損傷費用はお客様負担となり、部品の修理は有料となります)

洗濯物の準備

「毛布」コース以外では運転しないてください。洗濯物を傷める場合があります。

洗濯できるもの

	毛 布
素材	化繊(ポリエステル、アクリル)または綿
取扱絵表示	 (液温40℃を限度とし、手洗いができる) 表示
容 量	2.4kg以下(合計1枚まで)
サイズの目安(約)	幅140cm×長さ200cm以下
使用する洗剤	液体合成洗剤または液体中性洗剤 使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤または部分洗い用洗剤を塗布して、汚れを落としてください。

洗濯できないもの

素 材	●羊毛(ウール)やカシミア素材のもの ●電気毛布 洗濯できる電気毛布は、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。	×
-----	---	---

毛布洗いネットの使いかた

運転できる容量：1.5～2.4kg

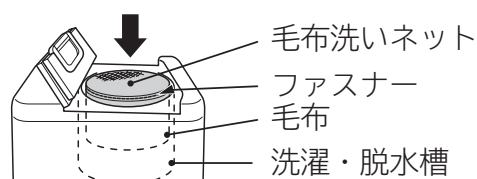


運転できる容量：1.5kg未満

折らずに、毛布の角から「毛布洗いネット」に少しずつ均等に入れてください。

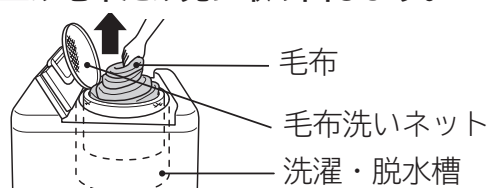
毛布の入れかた

ファスナーを上にして洗濯・脱水槽に入れてください。



毛布の取り出しかた

毛布洗いネットのファスナーを開け、毛布の中央部を引き上げ毛布だけ先に取り出します。



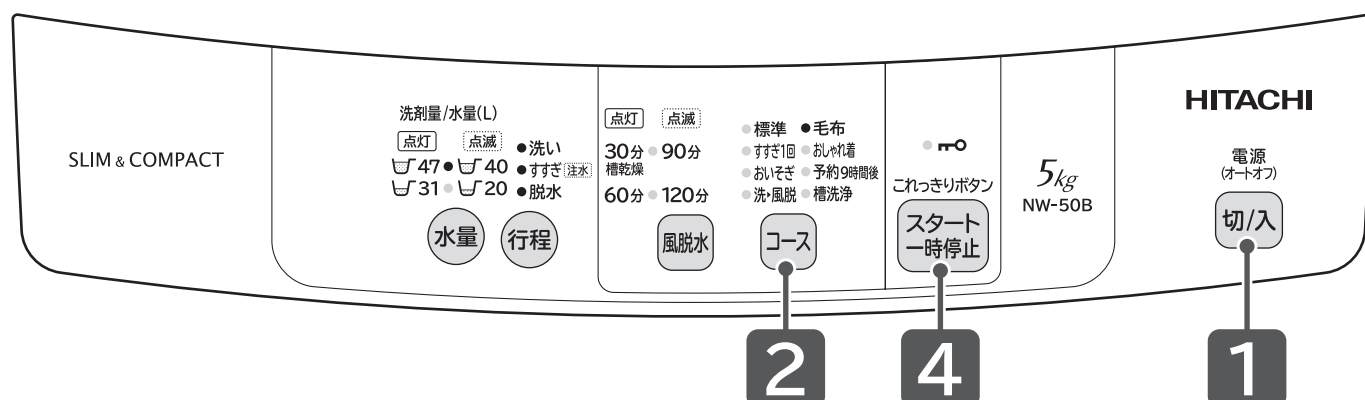
毛布の干しかた

風通しのよいところで自然乾燥させます。

●時々裏返すと乾きやすくなります。

●湿っているうちにブラシで一方方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。

使いかた



準備

水栓(蛇口)を開け、毛布洗いネットに入れた毛布を入れる→(P.26)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

コース を押し、「毛布」コースを選ぶ

「水量」を変更する→(P.33)

3

液体洗剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18~21)

4

スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量は、自動計測されません。

5

運転終了後、毛布と毛布洗いネットを取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

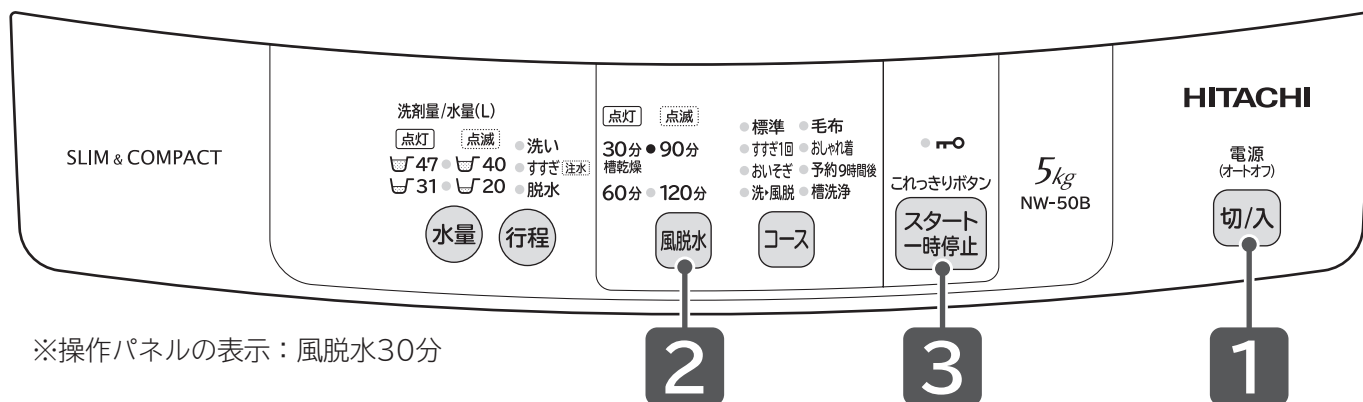
毛布コースで洗濯する

「毛布」コースは、洗い時につけおきをする行程があるため、洗濯・脱水槽の動作が休止する時間帯があります。

風脱水する

風脱水のみを行うときの手順です。洗濯は行いません。

使いかた



準備

洗濯物を1枚ずつ広げ、片寄らないように入れる→(P.14~17)

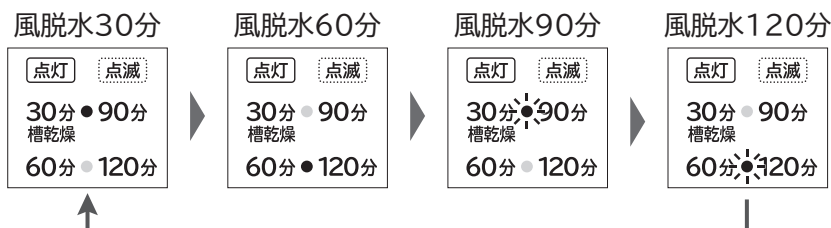
1

切/入 を押し、電源を入れる

2

風脱水 を押し、30/60/90/120分から、いずれかの時間を選ぶ

押すごとに時間が替わります。



洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合は排水してから運転してください。→(P.32)

3

ふたを閉め、スタート 一時停止 を押す

4

運転終了後、洗濯物を取り出す

⚠ 注意



禁止

脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.10)

- 防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・風脱水をしないでください。
 - 毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。
 - 一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。
- 脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

おしゃれ着コースで洗濯する

👉 (液温は40℃を限度とし、手洗いができる)表示や、Ⓟ (ドライクリーニングができる)表示の衣類を洗うコースです。

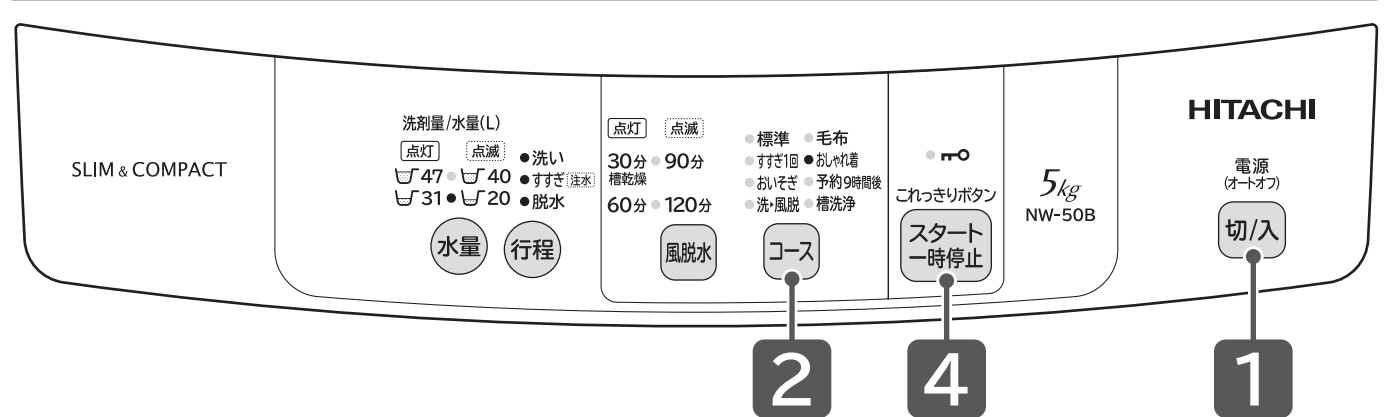
洗濯物の準備

洗濯できるもの	●👉 (液温は40℃を限度とし、手洗いができる)表示 ●Ⓟ (ドライクリーニングができる)表示 上記の絵表示があっても、洗えないものがあります。→(P.14)		
容量	1kg以下	おすすめ洗剤	液体中性洗剤

液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

洗濯できないもの	☒ (家庭での洗濯禁止)表示のもの Ⓡ (石油系溶剤によるドライリクリーニングができる)表示のものは、洗濯機で洗濯できません。
----------	--

使いかた



準備	水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	コース を押し、「おしゃれ着」コースを選ぶ 「水量」を変更する→(P.33)
3	液体洗剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18～21)
4	スタート一時停止 を押す 洗濯物の量は、自動計測されません。
5	運転終了後、洗濯物を取り出し、 糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

「おしゃれ着」コースは、洗い時につけおきをする行程があるため、洗濯・脱水槽の動作が休止する時間帯があります。

お湯やお風呂の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

風脱水する おしゃれ着コースで洗濯する

予約運転をする

運転終了予定時間を「9時間後」に予約することができます。
出かけている間や、夜間に運転させたいときなどに便利です。

こんなときには

予約内容の確認： **行程** を押す

(予約待機中に確認できます。押している間、予約運転の内容が表示されます)

予約の取り消し： **切/入** を押し、電源を切る

(電源プラグを抜いたとき、停電したときは、予約運転は取り消されます)

予約の変更： **切/入** を押し、電源を切り、初めからやり直す

衣類の追加：電源を切らずに、洗濯物を入れる

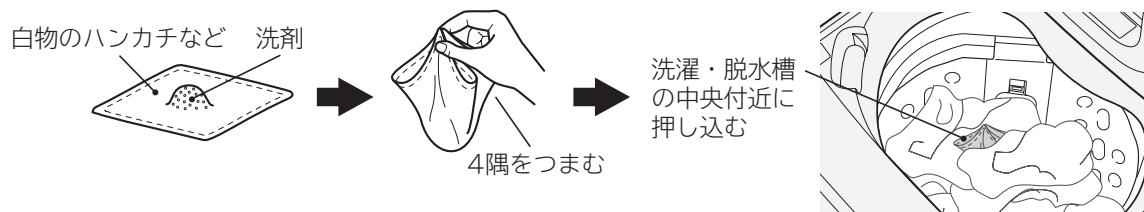
(予約中の洗濯物の追加は、少なめにしてください。洗濯物を入れ過ぎると
汚れ落ちがわるくなる原因になります)

- 洗濯物の量や布質、給水量、水温、気温、排水条件により運転終了予定時間が変わることがあります。
- 予約運転するときは、色移りしやすい洗濯物は一緒に洗濯しないでください。
- 洗濯物のしわを防ぐため、運転終了後は洗濯物を早めに取り出し干してください。
洗濯物を入れたままにしておくと、においの原因になります。
- 予約設定後に設定内容を変更して運転する場合は、一度洗濯・脱水槽内の水を排水してから運転してください。

洗剤の入れかた

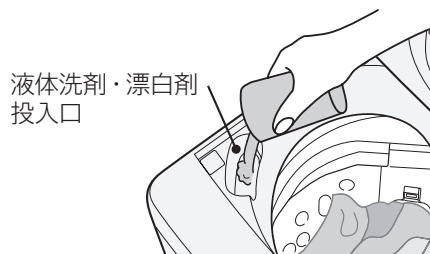
粉末合成洗剤

白物のハンカチなどに包み、洗剤がこぼれないように洗濯・脱水槽の中央付近に押し込んでください。

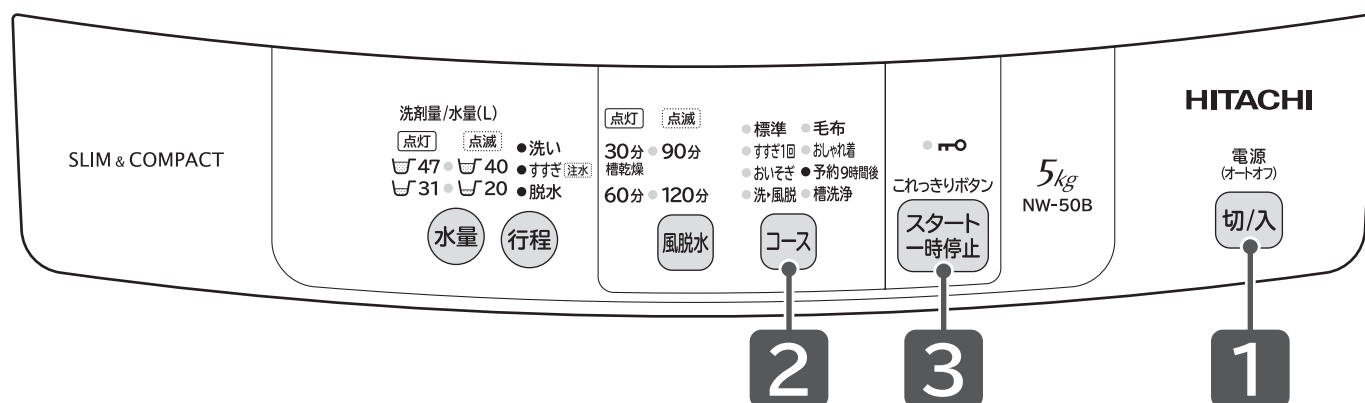


液体合成洗剤

2倍にうすめて、投入口に入れてください。



使いかた



準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14~17)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

コース を押し、「予約9時間後」コースを選ぶ

「水量」「すすぎ」を変更する→(P.33、34)

3

スタート一時停止 を押す

洗濯物の量が自動計測され、水量が表示されます。→(P.18)

洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合、洗濯物の量は自動計測されません。

4

水量表示に従って、

洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れてふたを閉める→(P.18~21)

洗濯内容を表示したあと、「予約9時間後」コースが点灯します。

5

運転終了後、洗濯物を取り出し、

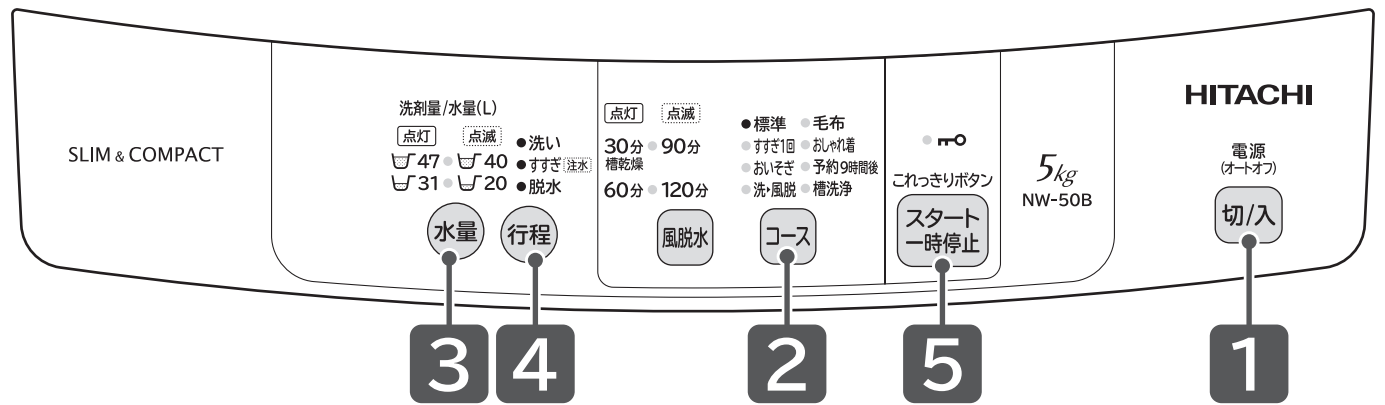
糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

予約運転をする

お好みの設定で運転する

洗い・すすぎ・脱水の設定変更と個別運転

洗い・すすぎ・脱水のみを設定したり、それぞれを組み合わせで運転させることができます。
設定内容は記憶されません。コースによっては設定を変更できないこともあります。→(P.34)
ここでは、「標準」コースを例に説明します。

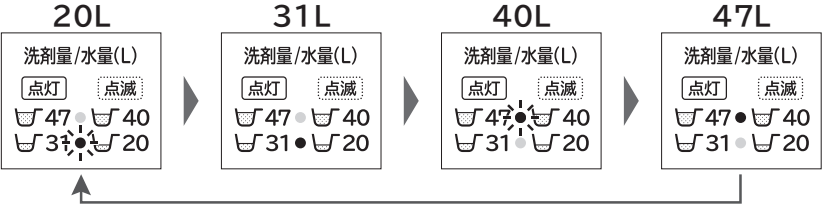


運転内容の設定	準備	1	2	3
洗い→注水すすぎ→脱水	水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる	ふたを閉め、 切/入 を押し、電源を入れる	コース を押し、「標準」コースを選ぶ	水量 を押し、お好みの水量を選ぶ 設定がないときは、自動で決まります。 (洗い設定があるときのみ)
洗いのみ				
水道水をためる				
洗い→すすぎ				
洗い→注水すすぎ				
脱水のみ				
排水のみ				
すすぎ→脱水				
注水すすぎ→脱水				
洗い→脱水				

「標準」コース以外で個別運転をする場合も同じ操作をします。

■水量の設定を変更する

「水量」ボタンを押すごとに、設定が切り替わります。



洗いやすすぎ中に水を足したいときは、「水量」ボタンを押します。押している間給水します。
(47L以上は給水しません)

■洗い・すすぎ・脱水の設定を変更する

「行程」ボタンを押すごとに、「洗い」「すすぎ」「脱水」が切り替わります。

4				行程表示		5	備考
				洗い ●	すすぎ ●	脱水 ●	
行程 を押し、 お好みの 運転内容を 設定する	1回押す	●	☀ (注水すすぎ)	●	スタート 一時停止 を押す	●	「すすぎ」が注水すすぎになります。
	2回押す	●	○ (すすぎなし)	○		○	洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
	3回押す	●	● (ためすすぎ)	○		○	洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
	4回押す	●	☀ (注水すすぎ)	○		○	「すすぎ」が注水すすぎになります。 洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
	5回押す	○	○ (すすぎなし)	●		●	排水後、脱水します。
	6回押す	○	● (ためすすぎ)	●		●	すすぎの前に排水、脱水します。 その後、すすぎ、脱水をします。
	7回押す	○	☀ (注水すすぎ)	●		●	すすぎの前に排水、脱水します。 その後、注水すすぎ、脱水をします。
	8回押す	●	○ (すすぎなし)	●		●	洗いと脱水をします。

電源を入れる(または、「行程」ボタンを9回押す)と「洗い」「すすぎ」「脱水」のランプがすべて点灯します。

お好みの設定で運転する

お好みの設定で運転する つづき

運転内容と変更できる内容

 : 標準設定内容 : 切り替えできる内容

コース	水量	行程		
		洗い	すすぎ	
			1回目	2回目
標準	20～47L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L		注水すすぎ※1	注水すすぎ※1
すすぎ1回	20～47L	12分	ためすすぎ	—
	20～47L			
おいそぎ	38L（表示は40L）	6分	ためすすぎ	—
	20～47L		注水すすぎ※1	—
洗▶風脱	20～47L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L			
毛 布	47L	25分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L			
おしゃれ着	31L	6分	注水すすぎ※2	—
	20～47L			
予約9時間後	20～47L	12分	ためすすぎ	ためすすぎ
	20～47L		注水すすぎ※1	注水すすぎ※1
槽洗浄	47L	615分	ためすすぎ	ためすすぎ
風脱水	—	—	—	

※1「すすぎ」のランプが点滅します。
※2「すすぎ」のランプが点灯します。

所要時間の目安

所要時間の目安は、運転内容を変更した場合、実際の時間とは異なります。

- 所要時間の目安は給水時間（給水量毎分15L）、排水時間を含みます。
（上表の所要時間の目安は、水道水圧、洗濯物の量、排水条件などにより異なります）
- 所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。

コースの内容

- 運転スタート後は、コースの切り替えはできません。
一度電源を切ってから行ってください。
- 運転スタート後に運転内容を変更するときは、「一時停止」を押してから変更してください。
「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。「洗い」行程終了後は、運転内容は変更できません。
- 給水開始から設定水位に達する間は、各ボタンの変更はできません。

柔軟剤について

柔軟剤を使用するときは、すすぎ2回までの設定としてください。

行程	風脱水	所要時間の目安 (実際の時間とは異なる場合があります)
脱水		
9分	—	52分 約(40~55分)
9分	—	42分 約(35~45分)
5分	—	25分 約(20~30分)
30分	—	73分
9分	—	56分
2分	—	23分 約(20~25分)
9分	—	52分 約(40~55分)
30分	—	670分
—	30、60、90、120分	30、60、90、120分

注水すすぎについて

- 「すすぎ」表示が点滅します。
- 水漏れを防ぐため、注水を途中で停止する場合があります。

便利な使いかた

お湯を使う(風呂水など)

お風呂の残り湯などを利用して洗濯することができます。

1

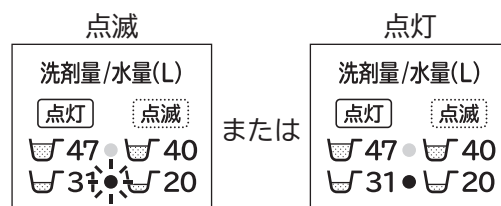
切/入 を押し、電源を入れる

2

**スタート
一時停止** を押し

3

水量が点滅または点灯していることを確認する



4

切/入 を押し、電源を切る

5

洗濯・脱水槽に洗濯物と洗剤を入れる

洗剤は、洗濯物の量に応じて入れてください。→(P.16)

6

お湯(風呂水など)を入れる

- 洗濯物が完全につかるまで入れてください。
- 50℃以下のお湯をご使用ください。
- つけおき洗いをする場合、このまま放置してください。



7

切/入 を押し、電源を入れる

電源を入れたあと、20分以内にスタートしてください。
自動で電源が切れ、入れたお湯(風呂水など)が排水されます。

8

コース を押し、コースを選ぶ

9

**スタート
一時停止** を押し、運転させる

設定の水量に達していないと、水道水が給水されます。
お湯(風呂水など)が入っていますので、水量が多めに表示されることがあります。
水量を変更する場合は→(P.33)

- 洗剤を入れ過ぎないでください。
入れ過ぎると発泡するおそれがあります。
- 入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従ってください。
色移りや変色を防ぐためです。
- お湯(風呂水など)を洗濯・脱水槽に入れる際は、洗濯機の周囲や、操作パネルにこぼさないようご注意ください。
濡れた場合は、乾いた布でふいてください。

終了音の設定

運転の終了を、音(ピーピーピー)でお知らせします。

工場出荷時は「設定あり(音あり)」が設定されています。設定を変更するときは

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

コース を押し、コースを選ぶ

押すごとにコースが選べます。

お好みの設定で運転する→(P.32)

3

**スタート
一時停止** を3秒以上押す

受付音が鳴り、そのまま押し続けると設定が変わります。

設定完了を音でお知らせします。

設定と同時に、選んだ洗濯コースがスタートします。

音あり ↑ 音なし	設定あり (工場出荷時)	「ピーピッピッピッ」 音でお知らせします
音なし	設定なし	「ピーピッピッピー」 音でお知らせします

設定内容は記憶されません。

便利な使いかた

洗濯液を2度使う

汚れの少ないものと汚れの多いものを2度に分けて洗うことができます。

1

1回目は汚れの少ないものを洗う

1 「洗いのみ」を設定する→(P.32)

2 水量に合わせて洗剤を入れる

3 「洗い」終了後、ぬれたままの洗濯物を取り出す

1回目の
洗濯物



洗いのみ



濡れた
ままの
洗濯物

2

2回目は汚れの多いものを洗う

1 1回目の洗濯液を利用して、お好みのコースを運転する

2 洗濯物に応じた水量を設定する

3 洗濯終了後、洗濯物を取り出す

2回目の
洗濯物



洗い→すすぎ→脱水



3

1回目に洗い終わった洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる

1 「すすぎと脱水」を設定する→(P.32)

2 1回目と同じ水量を設定する

1回目の
濡れた
洗濯物



すすぎ→脱水



4

運転終了後、洗濯物を取り出す

お手入れをする

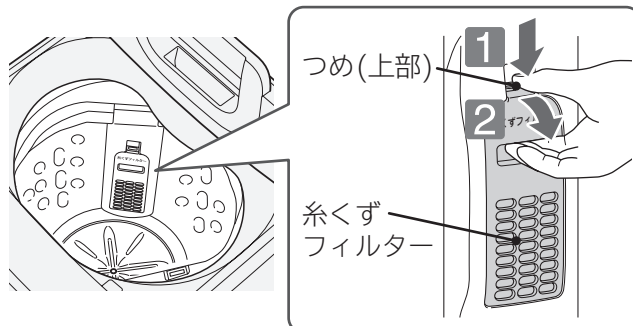
長くお使いいただくため、こまめにお手入れをしてください。
お手入れ方法について説明します。

糸くずフィルター

洗濯、洗濯～風脱水運転終了後、毎回お手入れしてください。

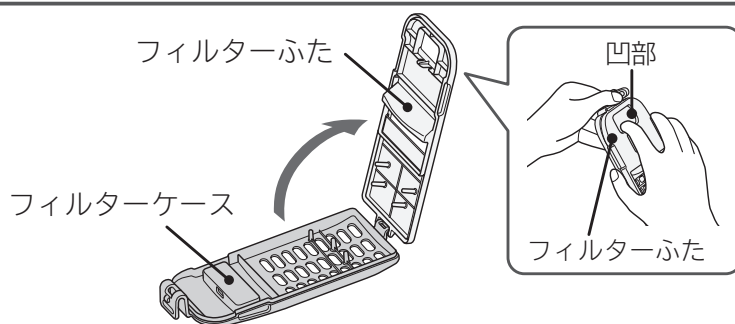
1 糸くずフィルターを取り外す

- 1 糸くずフィルターのつまめ(上部)を、押したまま
- 2 手前に倒し、取り外す



2 フィルターケースを開ける

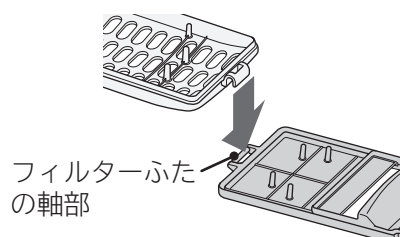
フィルターふたの凹部に指を掛け、開けてください。



3 糸くずフィルター内に付着した糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす

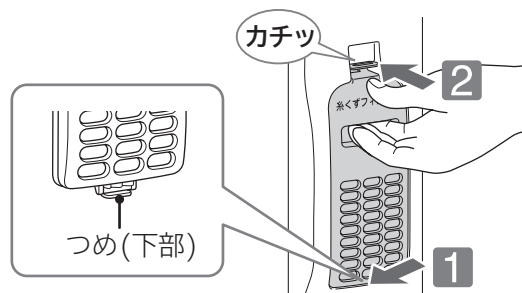
お手入れ中にふたが外れた場合

フィルターケースをフィルターふたの軸に合わせて、垂直に押し込んでください。



4 フィルターふたを閉め、糸くずフィルターを取り外した位置に取り付ける

- 1 糸くずフィルターのつまめ(下部)を、取り外した位置に入れる
 - 2 糸くずフィルターのつまめ(上部)を、「カチッ」と音がするまで押す
- 確実に取り付けないと、運転中に糸くずフィルターが外れる場合があります。



- 糸くずフィルターを取り外したあとの洗濯・脱水槽の穴に、ヘアピンや硬貨などを落とさないように注意してください。
- 糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。洗濯物を傷めるおそれがあります。

お願い 糸くずフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店で買い求めください。→(P.52)

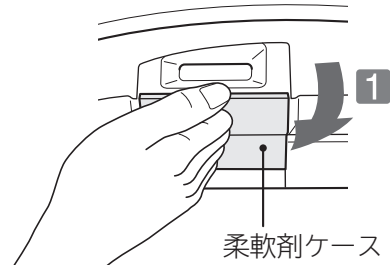
柔軟剤投入口（柔軟剤投入ケース）

柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、洗い流してください。

1

柔軟剤ケースを引き出す

1 柔軟剤ケースを手前に引き出す



2

柔軟剤投入口から水を入れ、
歯ブラシなどで内部を掃除する

- 水があふれて、周囲に水がかからないように注意してください。
- 汚れがひどいときは、お湯(約40℃)で柔らかくしてから掃除してください。

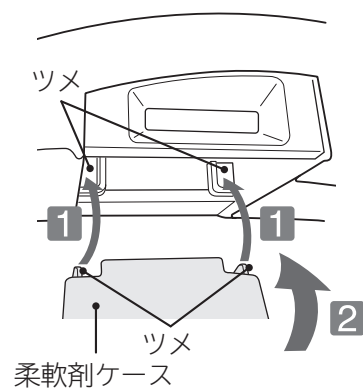


3

水気をふき取り、柔軟剤ケースを
取り外した位置に取り付ける

1 柔軟剤投入口のツメと、
柔軟剤ケースのツメを合わせる

2 カチッと音がするまで押し込む



お手入れをする

柔軟剤投入口のお手入れをするときは、柔軟剤ケースのお手入れを同時に行うことをおすすめします。

吸気口

ほこりが付着しているときや、汚れているときは、お手入れしてください。

1

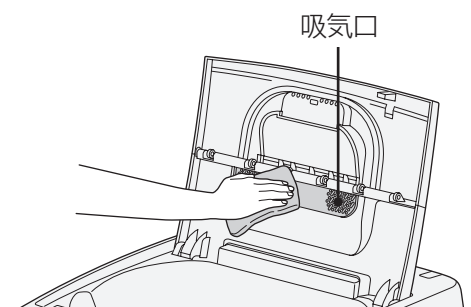
ふたを開ける

2

吸気口の汚れを柔らかい布でふき取る

3

ふたを閉める

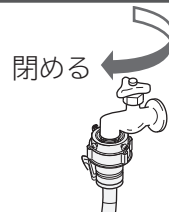


お手入れをする つづき

給水口

水道水の給水時間が長くなったり、洗い表示が全て点滅された場合、お手入れしてください。
水の飛び散りを防ぐため、次の手順で行ってください。

1 水栓(蛇口)を閉める

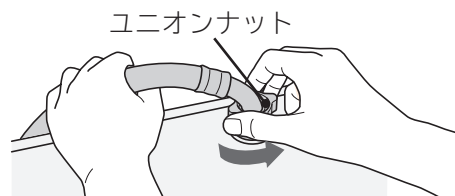


2 給水ホース内の水を抜く

- 1 **切/入** を押し、電源を入れる
- 2 **コース** を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ
- 3 **スタート一時停止** を押し、約1分間運転する
給水ホース内の残水を抜きます。
- 4 **スタート一時停止** を押してから一時停止する
- 5 **切/入** を押し、電源を切る

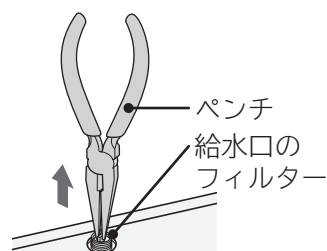
3 ユニオンナットを緩め、給水ホースを外す

給水ホース内の残水がたれる場合があります。
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。



4 給水口のフィルターに詰まったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

給水口のフィルターをペンチなどで取り外して掃除してください。
お手入れが終わったら、忘れずにフィルターを元の位置に戻してください。取り付けないと、給水弁の故障の原因になります。



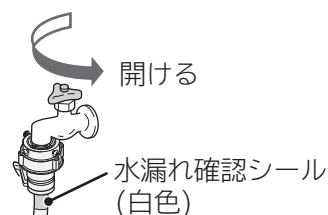
5 給水ホースを給水口に取り付ける → (据付説明書P.13)

ユニオンナットは確実に締め付けてください。
緩んでいると、水漏れの原因になります。

6 水栓(蛇口)を開ける

【水漏れ確認のお願い】

本機の給水ホースには水漏れ確認シールが付いています。(右図)
本シールは水滴が付着すると色が緑色に変わりますので、接続部の水漏れ確認にご利用ください。(水漏れ確認シールは乾くと白色に戻ります)
※湿気が高い環境下や結露水などにより、水漏れがない場合でも緑色に変わる場合があります。
油などが付着すると白色に戻らない場合があります。



排水口・排水トラップ

月に一度を目安に、お手入れをしてください。また、すすぎ表示と洗濯コースが全て点滅したときにもお手入れをしてください。

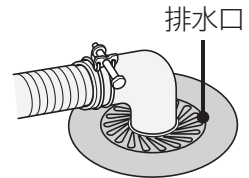
1

1 脱水運転を行い、排水されたことを確認する

「個別運転をする(「脱水のみ」など)」→(P.32)

2 排水ホースを排水口から外す

排水ホース内の残水が漏れ出る場合があるため、排水口の近くにバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで残水を受けてください。



2

排水ホース内、排水口の中に残っている糸くずなどを取り除く

排水トラップのお手入れ方法については、排水トラップの取扱説明書をご覧ください。

3

排水ホースを排水口に差し込み、脱水運転を行い、排水されることを確認する

お手入れをしても排水できない場合や、再びすすぎ表示と洗濯コースが点滅するときは、お困りのときを確認してください。

- 排水口に糸くずがたまりやすい場合や、排水口が本体の真下にあり、お手入れしにくい場合は、別売り部品の糸くずボックスをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。→(P.52)
- 排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、水漏れの原因になるので先端が排水配管に確実に差し込まれているかを確認してください。→(据付説明書 P.9)

本体

水滴が付着しているときや、汚れているときは、お手入れをしてください。

- 本体の水滴や汚れ、ふた取っ手などのプラスチック部品や、金属部品に洗剤や柔軟剤が付着しているときは、柔らかい布でふき取ってください。放置すると傷みやさびが発生し、破損することがあります。
- 本体各部に直接水をかけないでください。
- ふたは、柔らかい布でふき取ってください。薬品などは使用しないでください。周辺の部品がさびたり、破損したりすることがあります。
- 次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
 - ・ベンジン ・シンナー ・クレンザー(粉末タイプ) ・アルカリ性洗剤 ・弱アルカリ性洗剤 ・ワックス

洗濯・脱水槽

汚れているときは、お手入れをしてください。洗濯・脱水槽に付いたさびは、湿った布にクリームクレンザーを含ませてふき取ってください。

- 金属たわしでこすらないでください。
- ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合はさびが発生することがあります。
 - ・ヘアピンなどの金属類が長時間接触しているとき
 - ・鉄粉や赤さびの混じった水を使用したとき
 - ・洗濯・脱水槽内に、塩素系漂白剤や洗剤、柔軟剤がついたまま長時間放置したとき
- 運転終了後に、給水経路に残った水が注水口から垂れる場合がありますので、柔らかい布でふき取ってください。
- 汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。→(P.42)
- 洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。→(P.42)
- 次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
 - ・ベンジン ・シンナー ・クレンザー(粉末タイプ) ・アルカリ性洗剤 ・弱アルカリ性洗剤 ・ワックス

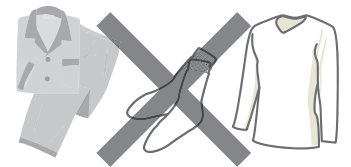
槽洗浄・槽乾燥コースでお手入れをする

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときにおすすめのコースです。

コースの使い分け

コース	こんなときに	運転時間
槽洗浄	洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき 	11時間
槽乾燥	洗濯・脱水槽を乾かしたいとき 	30分

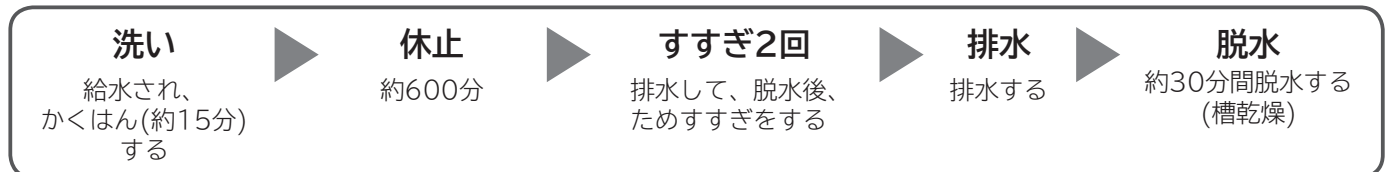
衣類は入れないで
ください



槽洗浄コース

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときに使用してください。洗濯槽クリーナーなどを使い、洗濯・脱水槽に蓄積された石けんかすや汚れを洗い落とし、約30分間脱水してにおいを取ります。

●洗濯・脱水槽の動作



一般的に長期間使用すると、石けんかすの蓄積や黒カビなどにより、においが発生しやすくなります。

1～2か月に一度程度を目安に槽洗浄運転をおすすめします。洗濯物への糸くず付着が気になるときも使用してください。この場合は、洗濯槽クリーナーは必要ありません。

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合

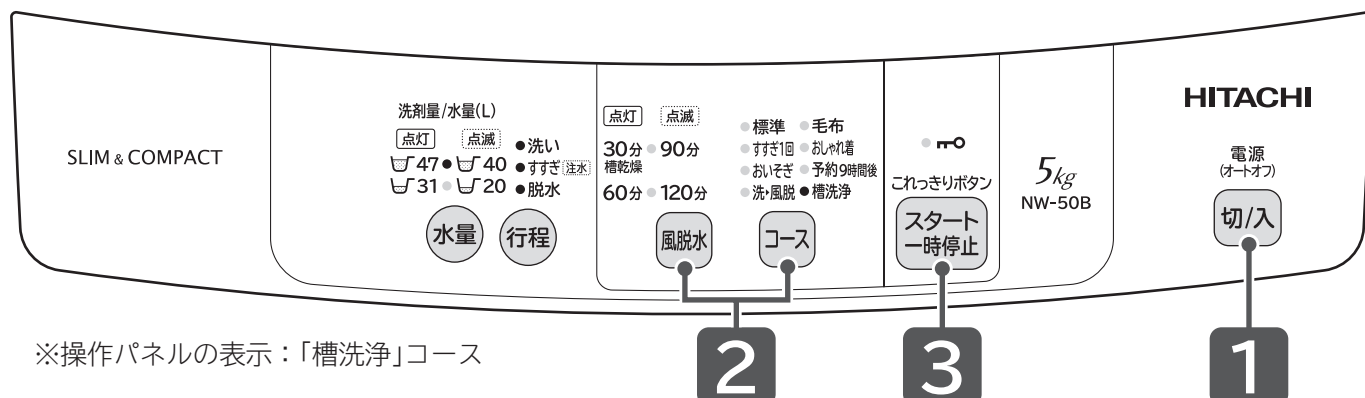
- 必ず換気をしてください。
- 衣類用塩素系漂白剤(「ハイター」など)または、洗濯槽用塩素系漂白剤を使用してください。
- しっかり洗浄したいときは、洗濯機専用の洗濯槽クリーナー「防食剤配合塩素系漂白剤」(例：日立純正洗濯槽クリーナーSK-1・別売り部品)を使用してください。→(P.52)
- 洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤に記載の使用上の注意や使用量をよくご覧になり、使用してください。
- 使用量が表示されていない場合は、約500mLを使用してください。
- 酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。
泡が多量に発生し、本体の故障や水漏れの原因になります。
- 洗濯・脱水槽の中に入れるときは、本体表面に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐにふき取ってください。



槽乾燥コース

約30分間、洗濯・脱水槽を脱水運転して乾燥します。

使いかた



※操作パネルの表示：「槽洗浄」コース

「槽洗浄」コースの場合

準備	水栓(蛇口)を開ける 洗濯槽クリーナーなどを使用する場合は、換気をしてください。
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	コース を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ 槽洗浄 ●標準 ●毛布 ●すすぎ1回 ●おしやれ着 ●おいそぎ ●予約9時間後 ●洗・風脱 ●槽洗浄 日立純正洗濯槽クリーナーまたは衣類用塩素系漂白剤を直接洗濯・脱水槽に入れる。 本体表面に付着しないように注意してください。 付着した場合は、すぐにふき取ってください。
3	ふたを閉め、スタート一時停止 を押す
4	運転終了後、糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

「槽乾燥」コースの場合

準備	水栓(蛇口)を開ける必要はありません
1	切/入 を押し、電源を入れる
2	風脱水 を押し、「槽乾燥 30分」コースを選ぶ 槽乾燥30分 点灯 点滅 30分 ● 90分 槽乾燥 60分 ● 120分 「風脱水30分」と「槽乾燥30分」は同じ表示です。 洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、排水してから運転してください。→(P.32)
3	ふたを閉め、スタート一時停止 を押す
4	運転終了後、糸くずフィルターをお手入れする→(P.38)

槽洗浄・槽乾燥コースでお手入れをする

お困りのとき

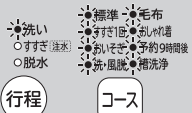
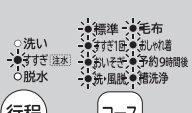
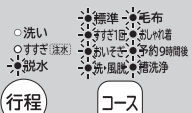
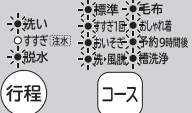
下記以外が表示されたときは→(P.47、48)

お知らせ表示されたとき

運転の途中で停止した場合は、表示の点滅とブザーでお知らせします。

下の表の「直しかた」に従って運転をしてください。

お知らせ表示されたまま12時間以上放置すると、自動で電源が切れます。

お知らせ表示と内容	直しかた
 給水されません	スタート一時停止を押して一時停止 ●水栓(蛇口)を開けてください。 ●給水口のフィルターのお手入れをしてください。→(P.40) ●断水していませんか。 ●水道や給水ホースが凍結していませんか。→(P.50) スタート一時停止を押して運転開始
 排水されません	洗濯・脱水槽および排水ホース内に残水がある場合があります。脱水運転後に以下を行ってください。 ●排水口、排水トラップ、排水ホースのお手入れをしてください。→(P.41) ●排水ホースを正しく取り付けてください。→(据付説明書 P.9、10) ・つぶれたり、凍結していませんか。 ・排水ホースを倒していませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・途中15cm以上高くなっていませんか。 ●延長用ホースを付けている場合、排水ホースを2m以下にしてください。 ●水が入ったまま「風脱水」コースを運転していませんか。 スタート一時停止を押して一時停止 スタート一時停止を押して運転開始
 脱水されません	●洗濯物が片寄らないように、洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。→(P.17) ●タオルケットやジーンズなどの厚手の洗濯物や、洗濯ネットに入れた洗濯物は、ほかの洗濯物を2、3枚追加してください。 ●毛布など大物の洗濯物は、洗濯物の量を減らしてください。 ●水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで高さを調整してください。→(据付説明書 P.11) スタート一時停止を押して一時停止 確認後スタート一時停止を押して運転開始
 ふたが開いています	ふたを閉めてください。 洗濯・脱水槽が回転するときは、危険防止のため、ふたが開かないようにふたがロックされます。 →(P.13) ふたを閉めると運転再開
 ふたがロックされません ふたロックが解除されません	スタート一時停止を押して一時停止 ふたを閉めてください。 確認後スタート一時停止を押して運転開始

次のような場合は使用を中止し、修理を依頼してください。→(P.56)

- 上記のお知らせが表示された場合、「直しかた」の項目を確認しても、何度も繰り返し表示される場合。
- 上記以外のお知らせが表示された場合、電源を一度切り、再度電源を入れ直しても何度も繰り返し表示される場合。

こんな音がしたとき

次のような場合に発生する音は、故障ではありません。

こんな音がしたときは		音の原因(故障ではありません)
洗いまたはすすぎをしているとき	カチャ・カツカツ	洗い運転と、すすぎ前の脱水運転とを切り替えるときの音です。
	ブーン・カラカラ	モーターの運転音です。
	シュー・カラカラ	洗濯物の量を計測している音です。
脱水しているとき	ブーン・カラカラ	モーターの運転音です。 ・脱水のとき、洗濯・脱水槽が回転する速度は段階的に速くなるため、回転する速度が上がると、音が大きくなることがあります。
	カチャ・カチャ	脱水運転に切り替えるときの音です。
	ブーン	ブレーキの音です。

本体各部

次のようなときは、修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

こんなときは		ここを確認してください
① 音・振動	振動や騒音が気になる	水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで高さを調整してください。→(据付説明書P.11) 洗濯・脱水槽の中に、硬貨やヘアピンなど異物が詰まっていないかを確認してください。 洗濯物が片寄っていないかを確認してください。 「一時停止」ボタンを押したあと、洗濯物は洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。
	給水の音が気になる	給水圧が高いと、音が大きくなる場合があります。 水栓(蛇口)を少ししばって給水量を調節してください。
② 給水口・給水	給水されない	水栓(蛇口)が開いていることを確認してください。 給水口のフィルターにゴミが詰まっている場合は、お手入れをしてください。→(P.40) 水道や給水ホースが凍結していないかを確認してください。→(P.51)
	給水ホースから水漏れする	水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎでの緩みやさびの発生により水漏れに至るおそれがあります。水道工事店へご相談することをおすすめします。 水漏れ確認シールの色が白いことを確認してください。→(P.40)
	(バケツなどで水を入れるとき)水がたまらない	電源を入れると排水口の弁が閉まり、洗濯・脱水槽に水をためることができます。
	水が抜ける	「電源」ボタンまたは「スタート」ボタンを押すと、入っていた水を排水する場合があります。

お困りのとき つづき

こんなときは		ここを確認してください
③ 排水口・排水	排水口の周りが泡であふれている、ぬれている	洗剤や漂白剤を入れ過ぎると、運転中に泡が多量に発生し、排水口から水が漏れたり、泡があふれたりする場合があります。 洗剤や漂白剤は、水量表示に従って適量を入れてください。→(P.18)
	④ ふた	ふたのロック表示を確認してください。→(P.13)  表示が点滅中は、ふたにロックがかかっているため開けられません。 〔フタロック(チャイルドロック)を設定すると点灯します〕  表示が消灯すると、ふたは開けられます。
⑤ 洗濯・脱水槽	初めて使用するのに、洗濯・脱水槽や排水ホースがぬれている	工場出荷時に動作確認のため使用した残水や結露した水分が、洗濯・脱水槽や排水ホースに残っている場合があります。
⑥ 本体	本体からにおいがする	購入後しばらくの間、ゴム製品などのおいがすることがありますが、使用するにつれて、においはなくなります。 気になる場合は、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。→(P.42)
		洗濯・脱水槽に石けんかすや黒カビが発生すると、においの原因になります。 ・汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。→(P.42) ・洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。→(P.42) また、ふたを開けておくことをおすすめします。 (子どもが洗濯・脱水槽の中に入らないよう注意してください)
	表示部がくもる	排水口に糸くずなどが詰まっている場合は、お手入れをしてください。→(P.41)
	表示部がくもる	お湯(風呂水など)で洗濯・脱水槽が温められ、蒸気や湿気で表示部がくもる場合があります。
	本体内部に物を落とした	床面に落ちていない場合は、使用を中止し、「修理に関するご相談窓口」へご相談ください。→(P.56)
	運転終了後にふたの裏側や衣類投入口周辺に水滴が付く	洗濯・脱水運転中に飛びはねた水滴が付着したものです。 気になる場合は、タオルなどで拭き取ってください。

本体の運転動作

こんなときは		ここを確認してください
7 運転動作	すすぎ運転が設定した内容と違う	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡の発生を抑える「注水すすぎ」に変更されます。 洗剤は水量表示に従って適量を入れてください。→(P.18) 洗濯物の片寄りを直すために、「注水すすぎ」運転をします。
	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	最終脱水時に洗濯物の片寄りが起きると洗濯物の片寄りを直すために、すすぎ運転に戻ります。
	風脱水ができない	洗濯・脱水槽に水が入っていると運転しません。 洗濯・脱水槽内の水を排水してください。→(P.32)
	洗い運転中に洗濯・脱水槽が停止している(運転が停止している)	運転中は「洗い」のランプが点灯しています。点灯していることを確認してください。 「毛布」「おしゃれ着」「槽洗淨」コースの場合は、洗い時につけおきをする行程があるため、洗濯・脱水槽の動作が休止する時間帯があり、運転が停止しているように感じることがあります。
	運転途中で止まっている	テレビやラジオなど、ノイズが出る機器が本体の側にあると電源が切れる場合があります。一度電源プラグを抜き差ししたあと、再度運転してください。
8 運転時間	運転時間が長い	脱水運転中に洗濯物の片寄りが発生すると、片寄りを直す運転が自動で追加されるため、運転時間が長くなります。 注水すすぎが設定されている場合は、ためすすぎよりも運転時間が長くなります。

操作パネルの表示内容〔点滅表示されたとき→(P.44)〕

こんなときは		ここを確認してください
9 水量表示	水量表示が自動で切り替わる	洗濯・脱水槽に、水が入っている状態でスタートすると、洗濯物の量が自動計測されないため、自動で一番高い水量になります。 洗濯・脱水槽内の水を排水してから、運転を開始してください。→(P.32)
	洗濯物の量が少なくても、水量表示が多めに表示される	下記の場合は、洗濯物の量が多めに自動計測されます。 ・湿気を多く含んでいる洗濯物 ・ぬれている洗濯物 ・厚手の洗濯物(重いため)
	洗濯物の量が多くても、水量表示が少なめに表示される	化繊、ポリエステルなどの洗濯物は軽いため、洗濯物の量が少なめに自動計測される場合があります。

お困りのとき つづき

こんなときは		ここを確認してください
10	注水すすぎに設定していないのに、「注水」すすぎになる (ランプが点滅する)	洗濯物の片寄りが起きた場合、ほぐし動作を行うため、「注水すすぎ」に切り替わります。

洗濯物の仕上がりが気になる

こんなときは		ここを確認してください
11	衣類に洗剤残りが ある (白いものが残る)	石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。→(P.22)
		水温が低いと洗剤が溶けにくいことがあります。
		洗剤残りが気になる場合は、下記をお試しください。 ・「注水すすぎ」に設定してください。→(P.32) ・洗剤を液体洗剤に替えてお試しください。
12	糸くずが気になる	色の濃い洗濯物は糸くずが目立ちやすいため、下記をお試しください。 「注水すすぎ」に設定してください。→(P.32)
		洗濯・脱水槽の内部にたい積した、固形の汚れ(糸くずなどの固まり)により洗濯物に糸くずが付着することがあります。 「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してから洗濯することをおすすめします。 →(P.42)
		市販の糸くず防止用洗濯ネットを使用して洗濯することをおすすめします。
13	汚れ落ちがわるい	洗濯物を入れ過ぎていないかを確認してください。 運転するコースにより、洗濯できる容量が異なります。→(P.24)
		洗剤は水量表示に従って適量を入れてください。→(P.18) ・洗剤が少な過ぎると、汚れ落ちが悪くなります。 ・石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。→(P.22)
		泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは前処理をしてください。
14	黒ずみが気になる	洗剤・柔軟剤は水量表示に従って適量を入れてください。 柔軟剤は柔軟剤投入口に入れてください。→(P.20)
		液体洗剤と柔軟剤を一緒に使用すると、柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみが目立つことがあります。洗剤を粉末洗剤に変えてお試しください。
		洗濯物は湿ったまま長時間放置しないでください。 洗濯物に黒い点々がついている場合は、カビ菌が繁殖している可能性があります。

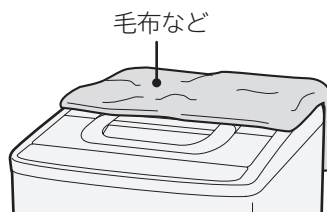
こんなときは	ここを確認してください
15 黄ばみが気になる	洗剤・柔軟剤は水量表示に従って適量を入れてください。 柔軟剤は柔軟剤投入口に入れてください。→(P.20)
	黄ばみを抑えたいときは、下記をお試しください。 予備洗いをする、または「注水すすぎ」に設定してください。→(P.32)
16 色移りや変色が気になる	洗濯物の取り扱い表示を確認してください。 色の濃い洗濯物など色移りしやすいものは、ほかの洗濯物と分けて洗ってください。 また、長時間のつけ置きはお避けください。
	水道水に水道管のさびが含まれていないか、タオルなどで水を通して確認してください。 含まれている場合は、水道工事店へご相談ください。
17 洗濯物がゴワゴワする	タオルなどパイル素材の洗濯物は、パイルが寝てごわつきが感じられることがあります。 柔軟剤をご使用ください。
18 においがする	洗濯・脱水槽に石けんかすが蓄積したり黒カビが発生したりすると、衣類に付着するに おいの原因になります。
	香りの強い洗剤や柔軟剤、粘性の高いものを使用すると、洗濯物に香りが強く残ることが あります。
	入浴剤を入れた風呂水を使用した場合、入浴剤の香りが洗濯物に残ることがあります。
	洗濯後や生乾きで温かい洗濯物を放置すると、雑菌の繁殖によりにおいの原因になりま す。運転終了後は、洗濯物を早めに取り出してください。
	排水口からのにおいを吸い込み、洗濯物にしみつくことがあります。 においが気になる場合は、別売り部品の洗濯機用排水トラップをお買い求めください。 →(P.52)
19 風脱水したのに乾きがわるい	タイマー式(定時間)のため、衣類の量・種類、気温・湿度・室内の換気状態、設置環境 によって、水分の飛ばし具合に差が出ます。足りない場合は追加運転してください。

もしものとき

給水ホースを外し水抜きをするとき(引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき)

給水ホース内の水を抜く	確認	排水ホースが排水口に差し込まれているかを確認する
	1	水栓(蛇口)を閉める
	2	 を押し、電源を入れる
	3	 を押し、「槽洗浄」コースを選び、  を押して運転させる
	4	約1分間運転して  を押し、  を押し、電源を切る 給水ホース内の残水を抜きます。
洗濯・脱水槽の水を抜く	5	給水ホースを外し、下に向ける 給水ホース内の残水がたれる場合があります。 給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。
	6	 を押し、電源を入れる
	7	 を押し、脱水を設定して約1分間運転させる→(P.32) 洗濯・脱水槽と排水ホース内の水を抜くためです。

※寒冷地での使用など凍結のおそれのある場合は、本体のうしろ側（上部）を毛布などで保温してください。

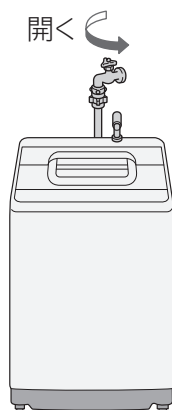


もしも凍結したとき

1 給水ホースを外し、約40℃のお湯につける

2 約40℃程度のお湯を、洗濯・脱水槽に約5L入れ、約10分間放置する

3 給水ホースをつなぎ、水栓(蛇口)を開ける



4 **切/入** を押し、電源を入れる

5 **スタート
一時停止** を押し、放置する(給水弁を解凍します)
通電時の熱で給水弁が解凍され、給水を始めます。(約20分程度)

6 **切/入** を押し、電源を切る

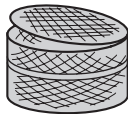
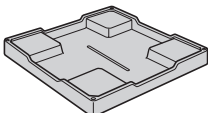
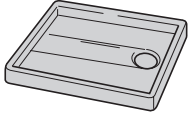
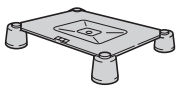
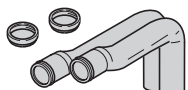
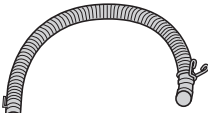
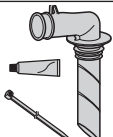
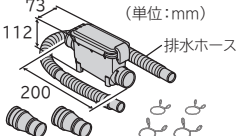
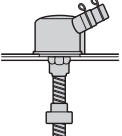
7 次の2点を確認する

- (1) 手で洗濯・脱水槽を回せるか。
- (2) 電源を入れ、「脱水」のみ(P.32)を設定してスタートし、排水するか。

※確認できない場合は、**1** ~ **6** を始めからやり直してください。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

こんなときに	別売り部品	
毛布コースで洗濯をするとき	毛布洗いネット (MO-F40)	
糸くずフィルターが破損したとき	糸くずフィルター (1個) (型式 NET-KD9SV-001)	
洗濯物のおいが気になるときや、洗濯・脱水槽のにおい、汚れが気になるとき	洗濯槽クリーナー (SK-1) (防食剤配合塩素系漂白剤/1500mL) (部品番号 SK-1-001)	
床を結露による水滴から守るとき	洗濯機用トレイ (YT-4) (幅640×奥行640×高さ83mm) (部品番号 YT-4-001)	
床を結露による水滴から守るとき (専用部品が必要な場合があります)	洗濯機用防水パン (TP-780) (幅780×奥行640×高さ63mm) 工事が必要です。	
本体を高くするとき、および防水パンの中に据え付けられないため、洗濯機を脚を防水パンの外に出して据え付けるとき	全自動専用設置台 (UP-D3)	
排水口が洗濯機の真下にあるとき	直下排水L形パイプ (HO-P5)	
排水ホースを延長したいとき	延長用排水ホース (約80cm) (部品番号 KW-50K1-023)	
排水口に接続するとき	Lパイプ (部品番号 BD-V3700L-003)	
排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったとき	糸くずボックス (WLB-4) (排水ホース：長さ800mm) (部品番号 WLB-4-001)	
排水口からの逆流やにおいを防ぐとき	洗濯機用排水トラップ (YT-T1) 工事が必要です。	
本体を水平に据え付けるとき	脚キャップ (部品番号 NW-60R5-052)	5mm 

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

本 体

型 式	NW-50B
種 類	全自動電気洗濯機
電 源	100V、50/60Hz共用
標 準 洗 濯 容 量	5.0kg（乾燥状態での布質量）
標 準 脱 水 容 量	
標 準 水 量	47L（「標準」コース）
標 準 使 用 水 量	122L（「標準」コース）
消 費 電 力	390/455W（50/60Hz）
洗 濯 方 式	うず巻式
水 道 水 圧	0.03～0.8MPa {0.3～8kgf/cm ² }
外 形 寸 法	幅539mm×奥行508mm×高さ965mm
質 量	26kg

保証とアフターサービス (よくお読みください)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】 (本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります)

	【設計上の標準使用期間】	7年
	設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。	

(設計上の標準使用期間とは)

- ・ 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- ・ 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件

日本工業規格 JIS C9921-4による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	標準コース	
	給水圧力	0.03~0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間 及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	標準コースの時間	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年	

注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

長期使用製品安全表示制度 窓口(お客様相談センター)

TEL 0120-3121-11 携帯電話・PHSから 050-3155-1111(有料)

(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日) 年末年始は休ませていただきます。

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常水質、異常電圧、異常水圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。
- (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (ホ) 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用)に使用されて生じた故障または損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

洗濯機の修理以外(洗濯物の変色または損傷など)は、保証の対象外となります。

補修用性能部品の保有期間

洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→(P.56)にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。
ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは

出張修理

44～49ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品 名	全自動電気洗濯機
型 式	NW-50B
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合には、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

- 車両、船舶に搭載して使用された場合。
- 理容院や美容院などの業務用使用、また、寮や病院などの共同使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換(クラッチ、シール、軸受、フィルターなど)が必要になることがあります。

愛情点検

長年ご使用の洗濯乾燥機の点検を！



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- 洗濯・脱水槽が止まりにくい。
- 水漏れがする。(ホース、水槽、給水栓継手)
- こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
- 本体にさわるとビリビリ電気を感じる。
- 据付が傾いたりグラグラしている。
- 電源を入れても、動かないときがある。
- タイマーが途中で止まることがある。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- そのほかの異常・故障がある。
- 電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-3121-11
携帯電話・PHSから 050-3155-1111 (有料)
FAX 0120-3121-34

(受付時間)9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
 年末年始は休ませていただきます。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話・PHSから 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87

(受付時間)9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日・祝日)

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。

URL <http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/repair.html> または

日立家電修理

検索

「修理相談/受け付け」ページの「出張修理のWeb受付」ボタンより入力画面にお進みください。

(注)対象製品をご確認のうえお申込みください。

- 「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

点字シール

本体の操作パネル部にお使いいただく「点字シール」をご用意しています。

「点字シール」を操作パネル部にはり付けていただくと、操作部の位置がわかるようになります。

ご希望の方は、「商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口」へご連絡をお願いします。



このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質(鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル))の含有率がJIS C 0950:2008による基準値以下であることを示しています。(規定の除外項目を除く)

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。<http://www.hitachi-ap.co.jp/corporate/environment/kankyo/jmoss/>

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名

電話 () -

ご購入年月日

年 月 日

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
 電話 (03) 3502-2111

3-Q3353-2
 K7(C)